



国立大学法人
浜松医科大学

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

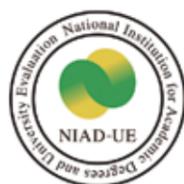
TEL.053-435-2111 (代)

<https://www.hama-med.ac.jp/>

1-20-1 Handayama, Higashi-ku, Hamamatsu,

Shizuoka 431-3192 Japan

Tel : +81-53-435-2111



UNIVERSITY
ACCREDITED
March 2015

学校教育法第109条第2項の規定に基づき、
平成26年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による
「大学機関別認証評価」を受審し、
「大学評価基準を満たしている」と認定されました。



ACCREDITED
2021.2-2028.1

令和元年度に一般社団法人日本医学教育評価機構による
「医学教育分野別評価」を受審し、
世界医学教育連盟(WFME)の定める国際基準に則った
評価基準に適合していることが認定されました。

国立大学法人
浜松医科大学
概要 2021

National University Corporation
Hamamatsu University
School of Medicine

CONTENTS

- 1 建学の理念、目的及び使命、
学章・シンボルマーク
Foundation Vision, Mission,
University Emblem, Logo & Mascot
- 3 学長挨拶
Message from the President
- 5 令和3年度
年度計画重点事項
- 7 教育目標
Goals
- 8 医学部
School of Medicine
- 11 大学院医学系研究科
Graduate School of Medicine & Nursing
- 13 組織
Organization
- 14 役員等
Administrative Officers
- 19 職員数
Staff
- 20 附属図書館
University Library
- 21 学内共同教育研究施設
Joint-use Facilities for
Education and Research
- 25 医学部附属病院
University Hospital
- 30 国際交流
International Exchanges
- 31 地域・社会貢献
- 33 外部資金受入れ状況
External Funding
- 34 財務、土地及び建物
Accounts, Land & Buildings
- 35 歴代学長・沿革
Former Presidents & History
- 40 案内図・交通アクセス
Location Map & Directions
- 41 キャンパスマップ
Campus Map

建学の理念 Foundation Vision

第1に優れた臨床医と独創性に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

The University seeks to achieve three chief objectives; firstly, to produce excellent clinicians and highly creative researchers; secondly, to promote original research and the innovation of medical techniques; and thirdly, to play a leading role in local medical treatments by practicing medicine for the greatest benefits of patients. These goals should contribute to the health and welfare of all mankind.

目的及び使命 Mission of our University

浜松医科大学は、医学・看護学の教育及び研究の機関として、最新の理論並びに応用を教授研究し、高度の知識・技術及び豊かな人間性と医の倫理を身に付けた優れた臨床医・看護専門職並びに医学研究者・看護学研究者を養成することを目的とし、医学及び看護学の進展に寄与し、地域医学・医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康増進並びに福祉に貢献することを使命とする。

The main task of Hamamatsu University School of Medicine is to actively promote the mankind's health, happiness and prosperity through its educational and academic activities. The school, which serves as an educational and research institution for medicine and nursing, aims at teaching and researches on the newest theories and practical applications of them. The school continuously seeks to grow up expert clinicians and nurses and their researchers who are not only highly academic and skilled but also well trained and versed in medical ethics. By doing so, the university plays a leading role in local medicine and health care and helps them develop.

学章・シンボルマーク University Emblem, Logo & Mascot



学章 University Emblem

静岡県、日本の象徴である富士山をモチーフにデザインされた学章は、開学以来、親しまれ、使用されています。富士に医大、下部に大学の丸、湾曲部は遠州灘と波、突起部は浜名湖をイメージしています。

Mt. Fuji, located in Shizuoka and the symbol of Japan is the motif of the university emblem. Kanji characters for 'Medicine' and 'University' are incorporated into the motif. The bight in its lower part portrays The Sea of Enshu and waves, and its protrusion images Hamana Lake.

The university emblem is used on diplomas, legal documents, and other materials only at the discretion of the president.



シンボルマーク University Logo

本学のローマ字での頭文字「h」をデザイン化。水色部分が遠州灘（下部分の曲線）、浜名湖の水面、浜松から望む富士山（右上の突起）で浜松の特色、全体の曲線が生命の源である自然な水のゆらぎ、医療の重要キーワード「生命」を表現しています。

また、オレンジ色の丸と水色部分の両方を合わせて全体を見ると、元気、健康、躍動を表現した人（丸を頭、水色の両端を手に見立てる）に見えます。

人類の健康と福祉に貢献することをイメージしています。

The University's initial letter "h" is designed into a mountain-like aqua shape, inspired by Mt. Fuji. It also symbolizes Hamana Lake, The Sea of Enshu, natural water and the essence of life. Together with an orange circle, it implies a mankind with energy, health and dynamism.

The university logo encapsulates the University's dedication to the future development of human health and welfare.

The logo was created primarily for use on merchandise and promotional items, and is an alternative to the university emblem for graphic design purposes.



はんだやまっぴー

マスコットキャラクター University Mascot

半田山の木々から生まれた山の精。

常に最新の医学を勉強し、患者さんを笑顔&元気にすることが何よりの生きがいとされています。

"Handa-yamappi" is a forest spirit, born in the wood of the Handa-yama University Campus. It loves catching up on modern medical care and cheering up patient, which is its raison d'etre.

学長挨拶

Message from the President



背景：リニューアルした附属図書館
「スマート・ライブラリ」

浜松医科大学は開学47年になります。卒業生は昨年度までに医学科 4,284名、看護学科 1,563名に達し、地域医療のみならず、全国の医療の現場や研究分野、行政関係などで活躍しています。建学の理念に謳われているように、「良質な医療人を育成し、独創性のある研究成果を世界に発信し、地域医療を中核的に担う」ことが、私たちの使命です。この理念は開学してから半世紀近くを経て、医療や看護の高度化、専門化が顕著な現代でも、聊かも揺るがない高邁な精神を謳っており、大学運営の羅針盤と言えます。

国立大学の法人化から17年経ちました。大学の運営全般に渡って学長のリーダーシップが強化されると共に、責任も飛躍的に増大しましたが、この間私を含め、3代の学長が中心となって教職員と共に多くの改革を進めてきました。概観としては、医師・看護師・保健師国家試験において高い合格率を維持しながら、地域の医療に貢献する優れた医師・看護師を養成し、独創性のある研究を展開すると共に、産学官連携など本学独自の「強み」を発展させてきました。

第3期中期目標期間に入ってから、国立大学法人の使命である、教育、研究、診療を中心として、社会貢献や時代を見据えた改革を推進し、各分野の深化を図ると共に、良好な病院収益などにより、計画的な大学施設の新築や改築、インフラの整備などを切れ目なく行っています。

教育においては、平成26年度から入試改革を中心に教学改革を進めてきました。入試においては、個別入試の比重を高め、面接にプレゼンテーションを実施し、「記憶力」から「論理的思考力、判断力、表現力」へという国の方向性を先取りしてきました。学部教育においては、今年度から抜本的な医学科カリキュラム改革を実施します。必要な知識・技術の習得や自律的な修学、問題解決能力は、初等中等教育の指針にも挙げられている現代の教育の根幹をなす「学び」の原則であり、膨大な医学・医療の情報の収集と選択、さらに課題を解決する能力は優れた医療人となる必要条件です。そして最も大切なことは内面的な資質、つまり、豊かな人間性と高い倫理観に基づく共感性、コミュニケーション力を身に付けることですが、新カリキュラムでは、これまで1年次のみであった倫理学、心理学等の行動科学の修学を6年間全体としました。さらに、国際性の観点だけではなく、異文化や人種等の多様性の理解に必須である英語の修学にも焦点を当てています。奇数学年時の全学生に課しているTOEIC受験に加え、e-learning（オンライン教育）や英語でのプレゼンテーションなど、6年間にわたる英語教育を行うことで、卒業時に英語で医学や医療の討論ができる医学生を育成します。海外で研修する学生は年々増加していますが、国際化推進センターを設置し、専任教員を配置するなど、本学及び海外からの学生の利便性を向上させ、一層の国際教育、国際的学術交流を推進しています。大学院教育においても、医学系研究科では海外の学生を含め常に定員以上の応募があり、優れた大学院生の確保が可能となっています。博士後期課程（光医工学共同専攻）を設置し、光医学を基礎とした医工連携分野に精通した光医工学の高度専門人材の育成もスタートしています。また、令和3年度から修士課程看護学専攻において老年看護の専門看護師育成コースを開設しました。令和4年度には精神看護の専門看護師育成コース、さらに博士課程の開設を予定しており、看護学科においても、専門看護師、認定看護師など、医療へコミットする多様な看護師を育成していきます。

研究面では、本学の「強み」として光医学研究と産学官連携が挙げられます。研究開発と人材育成の機能を強化するため、光先端医学教育研究センターを設置し、「細胞からヒト」までのシームレスなイメージングコンプレックス体制で、基礎医学から診療までの研究を展開しています。令和2年度に新設した研究戦略室の活動を通じて、今後もイメージングコンプレックス体制をさらに充実させると共に、これまで培ってきた光医学の知見や技術、機器を活用した分野横断的な研究を推進し、自閉症などこころの医学研究や遺伝性疾患等の研究を進展させるほか、創薬や新たな医療機器の開発に取り組んでいきます。また、大型研究への支援や、次世代の中心となる有望な若手研究者育成など、戦略的な研究支援についても引き続き力を入れていきます。さらに、地域における産学官連携を深化させるために、産学連携・知財活用推進センターを設置し、大学間、行政、金融、基幹病院との連携を強化しています。常勤教員当たり研究業績数や科研費獲得額・件数は国立大学でも常に上位に位置しています。

附属病院は安全で高度な医療を行うことを第一のミッションとしています。経営状況は極めて良好で、病院の使命を十全に果たしながら、手術件数など多くの指標が国立大学の中でもトップグループに入っています。手術件数の増加等に対応し、令和3年度には最新の手術室や放射線治療室、内視鏡室、新生児治療室などを備えた医療機能強化棟が竣工します。また、卒後教育の充実にも積極的に取り組んでおり、卒後教育センターでは、初期研修から専攻医研修まで一貫した支援を行っています。さらに看護師特定行為研修センターを開設し、チーム医療の促進のために医療安全のもと特定行為を行う看護師を育成しています。このような取り組みにより、医療・看護の質の向上に繋がると期待しています。

地域貢献としても、西部地区のみならず、静岡県全体の医療の主導的な役割を担っています。既に静岡県の勤務医の約3割を本学卒業生等、医局関係者が占めており、600床以上の大病院3施設を含め、30人近い病院長を輩出しています。そのほかにも、日本医師会理事、県医師会理事や市町の医師会長、県や市町の医療行政の幹部として本学関係者が活躍しています。ここ数年では医学科卒業生の約6割、70名程度が県内で種々の職に就いており、全国的にも地元定着率が極めて高い大学です。

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、社会・経済に極めて深刻な影響を及ぼしています。本学はいち早く感染予防対策を徹底し、全ての教職員、学生が高い防疫意識を持って行動しており、関係者全員の不断の努力により教育や診療など、地域医療の中核としての責務を果たすことができている。救急を含む外来診療も手術などの入院診療も概ね順調に行われています。授業はオンライン授業と対面授業を融合したハイブリッド型授業を実施しています。また全国でも稀ですが、臨床実習も昨年から中断することなく継続しています。これも病院関係者の理解と支援によるものですが、このような緊迫した状況だからこそ、医療人の資質を涵養できる機会であると思っています。

今回のコロナ禍では教職員、学生全てが積極的に防疫対策に協力し、「チーム浜松医大」としての真価を発揮してくれましたが、今後も一人一人が自らの責務を果たす中で、自らの夢を持ち、実現するために努力する、それが結果的に本学の持続的な成長に繋がる、そんな組織でありたいと願っています。

令和3年 5月

国立大学法人浜松医科大学長 **今野 弘之**

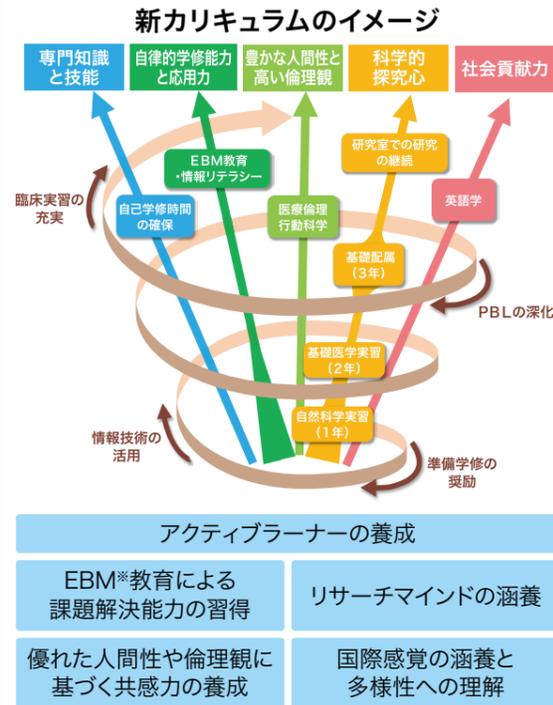
KONNO Hiroyuki, M.D., Ph.D., President

令和3年度 年度計画重点事項

教育 Education

教育改革

倫理観や科学的探究心、英語能力を体系的に涵養する1年次から6年次までの連続した「らせん型カリキュラム」を構築



教育の質保証

- 医学教育分野別評価を受審した結果に基づく改善活動
- 機関別認証評価の受審



大学院の高度化

- 看護学専攻(博士後期課程)の設置準備(令和4年度開設予定)
- 看護学専攻(修士課程)高度看護実践(CNS)コース(老年看護 令和3年度開設、精神看護 令和4年度開設予定)

教育施設の充実

- スマート・ライブラリのさらなる充実
- 講義実習棟改修(一方向の教育から双方向教育とICT環境を加えたハイブリッド学修へ)



外観(イメージ)

業務運営 Business Operations

組織運営の見直し

- 静岡大学との法人統合後の効率的な組織を目指し継続して検討を行う

積極的な情報発信

- 決算情報と教育研究成果・実績等を比較分析しアニュアルレポートとして公開するなど、大学の経営状況などを分かりやすく発信



アニュアルレポート 2020

人事給与マネジメント改革

- 教員のモチベーション向上のため
 - ・ 新年俸制適用教員について、新たな教員評価制度に基づく業績給の算定
 - ・ クロスアポイントメント手当の新設

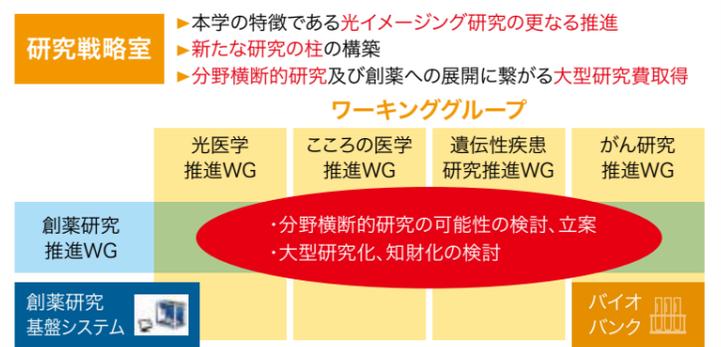
施設整備の有効活用による教育研究環境の向上

- 民間資金を活用したPPP(Public Private Partnership)手法による職員宿舍の整備
- 施設整備補助金によるキャンパス整備
 - ・ 講義実習棟改修工事の着工
 - ・ 医療機能強化棟の竣工

研究 Research

研究戦略室と5つのWG

■ 第3期中期目標期間の「光医学教育研究拠点形成事業」の最終年度であると同時に、第4期に向けて、光イメージング技術を手段として引き続き活用しつつ、新たな分野横断的な研究テーマについて、研究戦略室とその下に設置した5つのWGで検討を行う



研究支援制度のリニューアル

- 戦略的共同研究支援事業
学内の分野横断的な研究チームを結成し、重点的に支援することで戦略的に大型研究費獲得を目指す
- 戦略的競争資金支援事業
研究費の支援から、申請書レビュー及び面接支援などのアドバイズにシフトチェンジし、対象を科研費以外にも拡大

先端機器の導入と共用化

- 先端機器の導入による本学先端研究の推進
 - リモートの活用と窓口の一本化による機器の共用化体制の強化
- 導入予定機器: 4件
総額2.36億円
(文部科学省から措置)
- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 分子
トリプル四重極質量分析システム | in vivo 蛍光発光イメージングシステム |
| ウイルス、細胞
超解像顕微鏡 | 組織
病理標本オートスキャナーシステム |

診療 Medicine

感染対策・医療安全の取組

- 新型コロナウイルス感染症重点医療機関としてさらなる体制整備を行い、地域医療機関と連携した取組・ネットワークを強化

良質な医療人の育成

- 医学部で実施しているCST*と連携し、新しい医療技術及び医療機器の開発と、現役医師の高難度手術手技の取得へ貢献する

健全な病院経営の確立

- 新型コロナウイルス感染症や医療機能強化棟工事の影響で見込まれる減収回復のため、新たな施設基準の取得や現在の施設基準の上位取得を目指す

*CST(カダバーサージカルトレーニング): 献体を使用した手術手技研修

高度な医療の提供

- 「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」(指定期間: 令和3年4月1日~令和5年3月31日)としての体制強化
- 医療機能強化棟の稼働開始による、患者さんに負担の少ない高度先進医療の提供

医療機能強化棟(仮称)完成イメージ



教育目標 Goals

医学部医学科 Faculty of Medicine, School of Medicine

自学自習の態度・研究心の育成、人間性・倫理性の養成、国際性の習得およびプロフェッショナリズム(コミュニケーション能力、倫理観等)を身につけた人材の育成を目指しています。

The primary goal is to foster doctors with professionalism and ethical values who have inquiring minds, sincere humanity, international perspectives and excellent communication abilities.

医学部看護学科 Faculty of Nursing, School of Medicine

生命の尊厳を尊重する倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践能力をもつ看護専門職の育成を目指しています。

The primary goal is to graduate nursing specialists with ethical values and rich humanity to respect human dignity, and with practical clinical abilities supported by scientific knowledge.

大学院医学系研究科博士課程(医学専攻) Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program

1. 研究者としての倫理と誠実な人間性を養う。
2. 国際的な視野を持ち、豊かな知性と教養を身につける。
3. 問題発見能力を身につける。
4. 医学・医療に関する高度の専門的知識と技術に基づく問題解決能力を身につける。
5. 学術論文の作成能力を身につける。
6. 生涯にわたり自立して学問を探究する姿勢を養う。

The primary goal is :

1. to foster academic integrity as a researcher,
2. to utilize an international perspective, thereby sharpening the intellect and cultivating their knowledge,
3. to promote the students' ability to analyse problems,
4. to gain the ability to carry out research based on highly professional knowledge and skills,
5. to develop their ability to write well organized and eloquent theses, and
6. to exercise their academic inquiring mind throughout their lifetime.

大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻) Graduate School of Nursing Master's Degree Program

1. 特定の専門分野での看護実践の場における研究活動を通じて、高度な専門的知識と技術の向上・開発を図る能力を修得する。
2. 看護学教育と実践活動の場において、専門性の高い教育的機能を果たす能力を修得する。
3. 看護実践を通じて、専門性と倫理観に基づくケアの提供と研究を行える能力を修得する。
4. 看護の専門領域に関わる新しい課題にチャレンジできる高度な能力を修得する。
5. 文化的、社会的背景を考慮して健康問題を捉え、国内外で活躍できる高度な能力を修得する。

The primary goal is:

1. to acquire a highly professional knowledge of nursing and develop their skills through research in each specific field of practical nursing,
2. to acquire the ability to carry out a highly professional educational function in the field of nursing education and practice,
3. to acquire the ability to provide professional care based on practical ethics, and to do research thorough practical nursing,
4. to acquire the ability to tackle the challenging tasks of the nursing profession, and
5. to be able to understand health problems in terms of cultural and social diversity, and to be able to take part in nursing activities worldwide.

医学部 School of Medicine

医学科 Faculty of Medicine

高度の知識・技術及び豊かな人間性を身につけた臨床医並びに医学研究者を養成し、医学・医療の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

建学の理念に基づき、これまで多くの優れた臨床医を養成して静岡県はもとより全国各地の医療に貢献しつつ、最先端の研究も行っています。世界でも先駆的な研究の一例を挙げると、光を利用してがんを治療したり、光を用いて人体の機能を解析する新技術の開発があり、これの実践のための特別な研究センターを設けています。

また、卒業生は臨床医、医学研究者、医学教育者のみならず、産業医、医療福祉行政者などとしても活躍しており、活動分野は多岐にわたっています。



The Faculty of Medicine aims to produce physicians and medical researchers who have extensive medical knowledge, skills and well-rounded humanity. The faculty strives to contribute to the development of medicine, medical care, and to the enhancement of human health and welfare.

Based on our University's Foundation Vision, many excellent clinicians, who graduated from our University, are contributing to medical treatments both in Shizuoka Prefecture and nationwide. Our graduates are also engaging in state-of-the-art research at our University. New technologies are also being adopted by the Faculty in fields such as treatments of cancers and the development of advanced diagnostic techniques. In particular, The Preeminent Medical Photonics Education & Research Center was established for the promotion of advanced studies in the field of medical photonics.

Finally, our graduates play active roles not only as clinicians, medical researchers and medical educators, but also as industrial physicians and medical welfare administrators.

看護学科 Faculty of Nursing

看護の実践・研究・教育分野において国内外で活躍できる人材を育成することにより、看護学の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

本学では4年間の学部生活の間に学生が科学的考え方を身につけ、人への配慮ができる看護専門職に育つための教育を行っています。卒業生の中には本学大学院修士課程に進み、看護学教育・研究者への道を歩む者もいます。



The Faculty of Nursing aims to produce talented people who play active roles in the fields of practical nursing skills, nursing research, and education locally and globally. The faculty strives to contribute to the development of the nursing science and enhancement of human health and welfare.

Students develop their scientific thinking and kind consideration for others during 4 years of student life. Graduates can continue their professional development in the Master's Program of the Graduate School of Nursing to pursue careers in nursing education and as researchers.

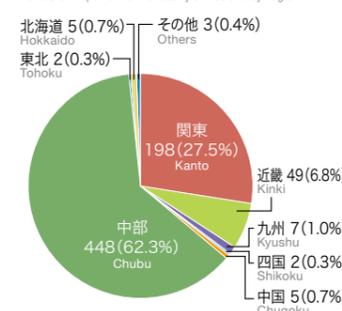
入学定員及び現員 Admissions and the Present Number of Students

学 科		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
School of Medicine		1st yr.	2nd yr.	3rd yr.	4th yr.	5th yr.	6th yr.	Total
医 学 科 Faculty of Medicine	入学定員 120(5) Admission Quota	男 Male 83	82 (4)	82 (4)	70 (5)	77 (4)	73 (5)	467 (22)
		女 Female 34	42 (0)	36 (0)	50 (0)	40 (0)	50 (0)	252 (0)
	収容定員 715(25) Capacity	合計 Total 117	124 (4)	118 (4)	120 (5)	117 (4)	123 (5)	719 (22)
看 護 学 科 Faculty of Nursing	入学定員 70(10) Admission Quota	男 Male 1	2	5 (1)	1 (0)			9 (1)
		女 Female 61	57	62 (5)	66 (3)			246 (8)
	収容定員 260(20) Capacity	合計 Total 62	59	67 (6)	67 (3)			255 (9)

医学科の()内は、第2年次編入学を内数で示す 看護学科の()内は、第3年次編入学を内数で示す
The numbers in () for the Faculty of Medicine indicate mid-course entry admissions to 2nd-year included in total.
The numbers in () for the Faculty of Nursing indicate mid-course entry admissions to 3rd-year included in total.

令和3年5月1日現在
Data on May 1, 2021

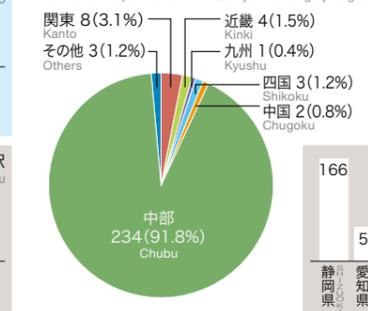
医学科地域別在学生数割合 Number & Proportion for the Faculty of Medicine by Region



看護学科地域別在学生数割合 Number & Proportion for the Faculty of Nursing by Region



看護学科地域別在学生数割合 Number & Proportion for the Faculty of Nursing by Region



入学志願者及び入学者数 Applicants and Enrollment Number of Students

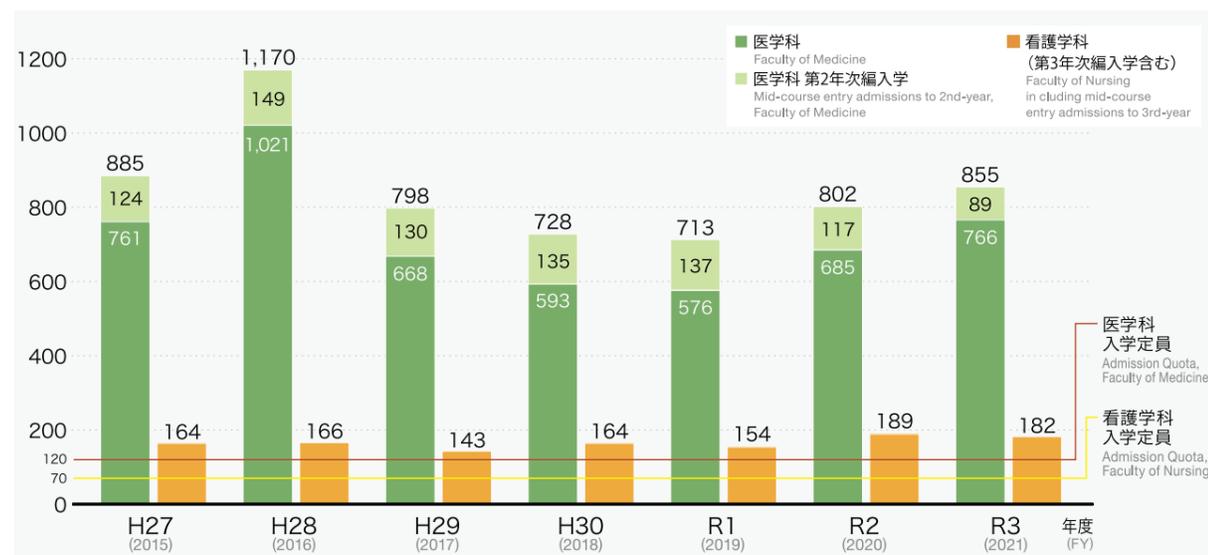
区分 Classification	医学科 Faculty of Medicine						看護学科 Faculty of Nursing					
	入学志願者 Applicants			入学者 Enrollment			入学志願者 Applicants			入学者 Enrollment		
	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total
令和3年度 FY 2021	473 (55)	293 (34)	766 (89)	81 (4)	34 (0)	115 (4)	5 (2)	155 (20)	160 (22)	1 (1)	59 (5)	60 (6)
令和2年度 FY 2020	407 (75)	278 (42)	685 (117)	74 (4)	40 (0)	114 (4)	9 (4)	149 (27)	158 (31)	2 (0)	58 (3)	60 (3)
令和元年度 FY 2019	368 (91)	208 (46)	576 (137)	76 (5)	37 (0)	113 (5)	8 (2)	120 (24)	128 (26)	4 (1)	58 (6)	62 (7)
平成30年度 FY 2018	341 (96)	252 (39)	593 (135)	68 (4)	47 (0)	115 (4)	8 (5)	135 (16)	143 (21)	1 (2)	59 (5)	60 (7)
平成29年度 FY 2017	426 (89)	242 (41)	668 (130)	70 (5)	45 (0)	115 (5)	2 (3)	118 (20)	120 (23)	2 (3)	58 (5)	60 (8)
平成28年度 FY 2016	598 (107)	423 (42)	1,021 (149)	65 (4)	50 (1)	115 (5)	11 (11)	113 (31)	124 (42)	5 (3)	55 (7)	60 (10)
平成27年度 FY 2015	470 (91)	291 (33)	761 (124)	73 (3)	42 (2)	115 (5)	7 (1)	129 (27)	136 (28)	0 (1)	60 (9)	60 (10)

医学科の()内は、第2年次編入学を外数で示す 看護学科の()内は、第3年次編入学を外数で示す
 The numbers in () for the Faculty of Medicine indicate mid-course entry admissions to 2nd-year not included in total.
 The numbers in () for the Faculty of Nursing indicate mid-course entry admissions to 3rd-year not included in total.

令和3年5月1日現在
Data on May 1, 2021

令和3年度入学者の県内出身者 医学科57(49.6%)、看護学科37(61.7%)

入学志願者状況 Applicants for Admission



研究生数 Research Students

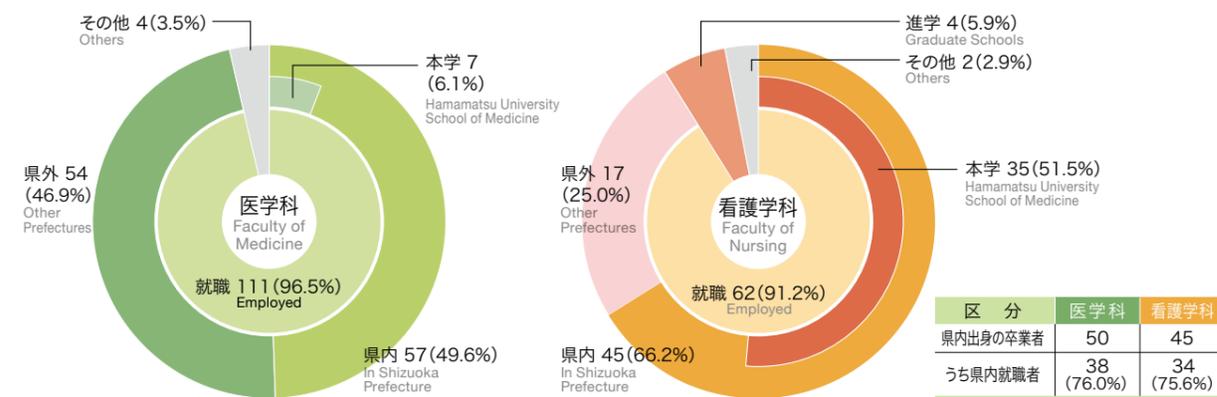
区分 Classification	令和3年度 FY 2021
男 Male	3
女 Female	2
合計 Total	5

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

卒業生数 Number of Graduates

区分 Classification	医学科 Faculty of Medicine							看護学科 Faculty of Nursing						
	S54~H27 年度計 FY 1979~ 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020	合計 Total	H10~H27 年度計 FY 1998~ 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020	合計 Total
	男 Male	2,690	72	79	85	78	71	3,075	59	7	6	4	6	3
女 Female	993	47	40	41	44	44	1,209	1,169	58	66	66	54	65	1,478
合計 Total	3,683	119	119	126	122	115	4,284	1,228	65	72	70	60	68	1,563

令和2年度卒業生の進路状況 Locations of Graduates (Class 2020)



区分	医学科	看護学科
県内出身の卒業生	50	45
うち県内就職者	38 (76.0%)	34 (75.6%)

医師国家試験合格状況 Success Rates in the National Medical Practitioners Qualifying Examination

Success Rates in the National Medical Practitioners Qualifying Examination

区分 Classification	新卒 New Graduates			既卒 Reexaminees			総数 Total			全国順位 National Ranking
	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success	
第115回 2021 115th	115	111	96.5	5	5	100.0	120	116	96.7	8
第114回 2020 114th	122	118	96.7	6	5	83.3	128	123	96.1	17
第113回 2019 113th	126	121	96.0	5	4	80.0	131	125	95.4	11
第112回 2018 112th	119	116	97.5	6	4	66.7	125	120	96.0	9
第111回 2017 111th	119	114	95.8	4	3	75.0	123	117	95.1	10
第110回 2016 110th	118	114	96.6	1	0	0.0	119	114	95.8	13

保健師・看護師国家試験合格状況 (既卒者を含む) Success Rates in the National Medical Examinations for Public Health Nursing and Nursing

Success Rates in the National Medical Examinations for Public Health Nursing and Nursing

区分 Classification	保健師 Public Health Nursing			区分 Classification	看護師 Nursing		
	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success		受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success
第107回 2021 107th	68	67	98.5	第110回 2021 110th	61	61	100.0
第106回 2020 106th	60	60	100.0	第109回 2020 109th	53	53	100.0
第105回 2019 105th	70	65	92.9	第108回 2019 108th	62	62	100.0
第104回 2018 104th	73	70	95.9	第107回 2018 107th	64	64	100.0
第103回 2017 103rd	65	64	98.5	第106回 2017 106th	55	53	96.4
第102回 2016 102nd	64	64	100.0	第105回 2016 105th	55	55	100.0

大学院医学系研究科 Graduate School of Medicine & Nursing

博士課程 Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program

大学院医学系研究科博士課程(医学専攻)は、国際的にリーダーシップを発揮できる基礎医学研究者と臨床研究医を養成することを目的としています。即ち、光先端医学を中心に幅広い専門分野の授業科目を履修することを基礎に、基礎研究者を目指す学生には高度の専門的知識と技術を身につけ、独創的な先端研究を遂行できる能力を養成します。また、臨床研究医を目指す学生には、臨床研究を更に推進することができるような研究マインドを持ち、臨床の現場で広く求められる応用力を養成します。



This doctoral program aims to produce both basic medical researchers and clinical scientists who will take the leadership on global bases. Based on taking a broad range of classes including "advanced photo-medicine", the students for medical researchers should acquire high-level expert knowledge and skills to perform creative research. On the other hand, the students for clinical scientists should acquire the ability to apply a research mind to their own clinical practice.

博士後期課程(光医工学共同専攻) Inter-university Curriculum Doctoral Course (Cooperative Major in Medical Photonics)

大学院医学系研究科博士後期課程(光医工学共同専攻)では、21世紀が抱える健康、医療、高齢化等の問題の解決に向け、光医工学に関する専門的な知識と技能を身につけ、光・電子工学と光医学の双方に精通し、かつ、高い見識と幅広い国際感覚、高い倫理観を有する人材を養成します。



The ideal program participant at the end of his or her coursework will have acquired the specialized knowledge and professional skills in medical photonics necessary to take on the challenge of finding solutions to 21st century problems in healthcare, medical treatment, aging, and other spheres, familiar with both opto-electronics and photomedicine, with heightened human awareness, a broad international perspective, and high ethical standards.

修士課程 Graduate School of Nursing Master's Degree Program

大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)では、これまで修得した専門的知識・技術を基盤に、科学的思考力、問題解決力、創造性と基礎的な研究能力を養い、高度な実践能力と倫理観を備えた高度専門職業人、教育者及び研究者を養成します。また、開設した助産師養成コースでは、修了後助産師国家試験受験資格、受胎調節実施指導員申請資格が得られます。



This program aims to produce highly advanced nursing specialists, pedagogues, and researchers who have scientific thought, ability to notice and solve the problems, on the basis of fundamental capability for high-quality nursing knowledge and skills so far acquired. The graduates of the Midwifery Course gain a Master's degree and are qualified to take the National Midwifery Examination in Japan.

入学定員及び現員 Admissions and the Present Number of Students

博士課程 Doctoral Degree Program

区分 Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	3年 3rd yr.	4年 4th yr.	合計 Total	
医学専攻 Medicine	入学定員 30 Admission Quota	31 (2)	34 (9)	29 (6)	47 (5)	141 (22)
	収容定員 120 Capacity	8 (4)	8 (1)	10 (2)	11	37 (7)
	合計 Total	39 (6)	42 (10)	39 (8)	58 (5)	178 (29)

()内は10月入学を内数で示す

The numbers in () indicate those students who enrolled in October included in total.

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

博士後期課程 Inter-university Curriculum Doctoral Course

区分 Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	3年 3rd yr.	合計 Total	
光医工学共同専攻 Cooperative Major in Medical Photonics	入学定員 3 Admission Quota	1	3	3	7
	収容定員 9 Capacity	0	0	0	0
	合計 Total	1	3	3	7

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

修士課程 Master's Degree Program

区分 Classification	1年 1st yr.	2年 2nd yr.	合計 Total	
看護学専攻 Nursing	入学定員 16 Admission Quota	5	6 (3)	11 (3)
	収容定員 32 Capacity	12	23 (11)	35 (11)
	合計 Total	17	29 (14)	46 (14)

()内は平成30年以前入学の長期履修者を内数で示す The number in () indicates Long-term Study Students included in total.

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

入学者数 Enrollment Number of Students

区分 Classification	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020	R3年度 FY 2021	
博士課程 Doctoral Degree Program	男 Male	29 (0)	25 (0)	24 (5)	29 (7)	23 (9)	26 (2)	29
	女 Female	5 (0)	4 (2)	9 (2)	8 (2)	10 (1)	6 (4)	4
	合計 Total	34 (0)	29 (2)	33 (7)	37 (9)	33 (10)	32 (6)	33
博士後期課程 Inter-university Curriculum Doctoral Course	男 Male	—	—	—	2	3	3	1
	女 Female	—	—	—	1	0	0	0
	合計 Total	—	—	—	3	3	3	1
修士課程 Master's Degree Program	男 Male	1	2	4	2	3	3	5
	女 Female	15	14	12	13	14	12	12
	合計 Total	16	16	16	15	17	15	17

博士課程の()内は、秋入学を外数で示す The number in () indicate those students enrolled in October not included in total.

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

学位授与者数 Degrees Awarded

区分 Classification	S58~H26 年度計 FY 1983~2014	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020
博士課程(医学) Ph. D. (Doctoral course)	705	27	28	26	29	25	39
論文博士(医学) Ph. D. (Dissertation only)	517	9	14	10	9	12	8
博士後期課程(光医工学) Doctor of Medical Photonics	—	—	—	—	—	—	3
修士課程(看護学) Master of Nursing (M.A.)	198	13	21	18	12	15	17
合計 Total	1,420	49	63	54	50	52	67

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

研究生数 Research Students

区分 Classification	令和3年度 FY 2021
男 Male	21
女 Female	4
合計 Total	25

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

助産師国家試験合格状況

Success Rates in the National Medical Examinations for Midwifery

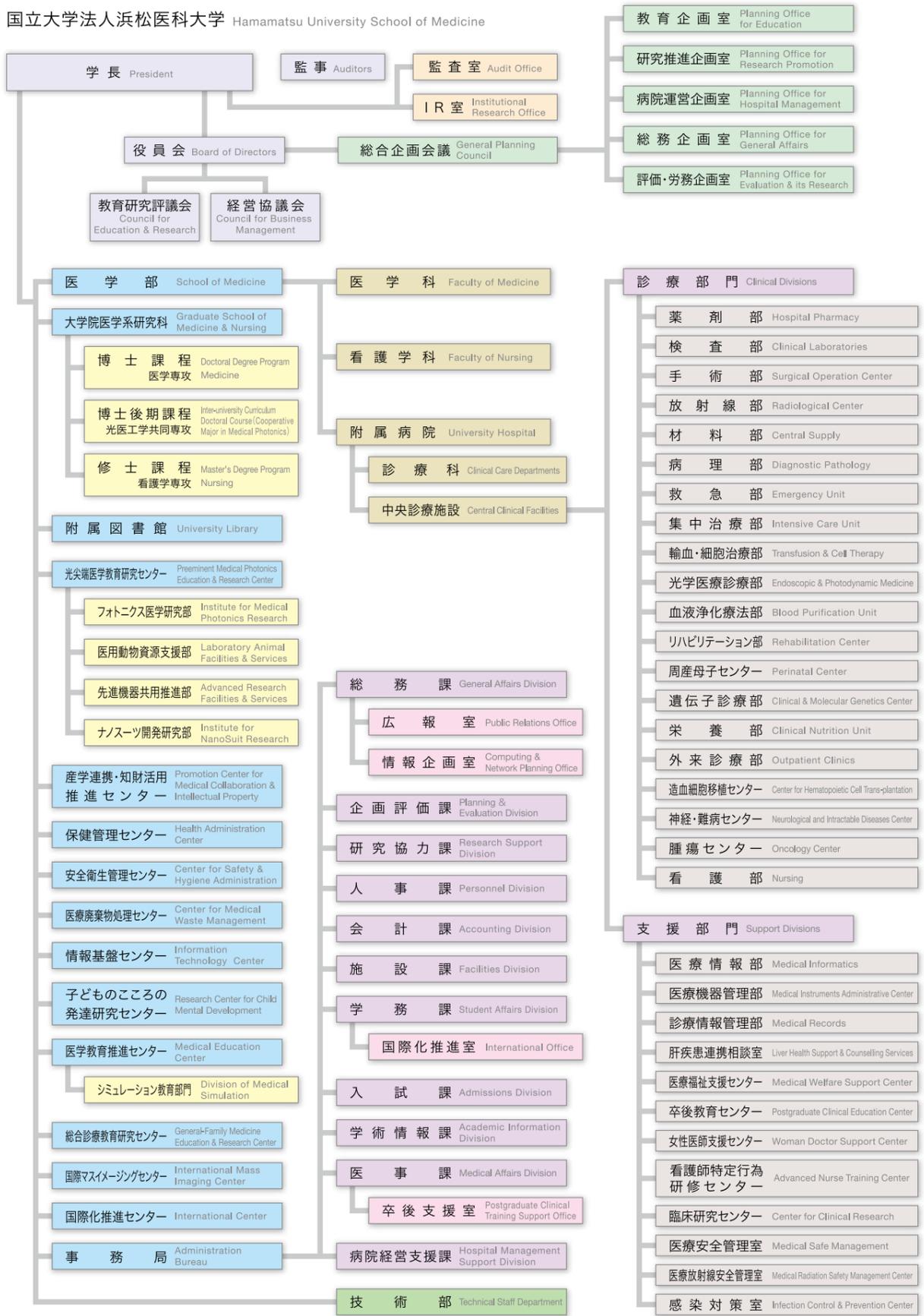
区分 Classification	受験者 Applicants	合格者 Passed	合格率 Rate of Success
第104回 2021 104th	5	5	100.0
第103回 2020 103rd	5	5	100.0
第102回 2019 102nd	5	5	100.0
第101回 2018 101st	5	5	100.0
第100回 2017 100th	5	5	100.0
第99回 2016 99th	大学院修士課程へ移行1年目のため該当者なし N/A		

■大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所
こころの発達健康科学講座(浜松校)

Division of Neuropsychological Development and Health Sciences, Department of Child Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui

組織 Organization

国立大学法人浜松医科大学 Hamamatsu University School of Medicine



役員等 Administrative Officers

学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki																																
理事・副学長 Executive Directors/Vice Presidents	<table border="0"> <tr> <td>教育・産学連携担当 for Education & Collaboration Development</td> <td>山本 清二 YAMAMOTO Seiji</td> <td>西山 仁 NISHIYAMA Hitoshi</td> </tr> <tr> <td>企画・評価担当 for Planning & Evaluation</td> <td>渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi</td> <td>非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko</td> </tr> </table>	教育・産学連携担当 for Education & Collaboration Development	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	西山 仁 NISHIYAMA Hitoshi	企画・評価担当 for Planning & Evaluation	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko																										
教育・産学連携担当 for Education & Collaboration Development	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	西山 仁 NISHIYAMA Hitoshi																															
企画・評価担当 for Planning & Evaluation	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko																															
理事・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	<table border="0"> <tr> <td>財務担当 for Finance</td> <td>佐藤 誠 SATO Makoto</td> </tr> </table>	財務担当 for Finance	佐藤 誠 SATO Makoto																														
財務担当 for Finance	佐藤 誠 SATO Makoto																																
理事 Executive Director	<table border="0"> <tr> <td>経営担当 for Administration</td> <td>非常勤 晝馬 明 HIRUMA Akira</td> </tr> <tr> <td>地域・大学連携担当 for Regional Cooperation & University Collaboration</td> <td>非常勤 鈴木 滋彦 SUZUKI Shigehiko</td> </tr> </table>	経営担当 for Administration	非常勤 晝馬 明 HIRUMA Akira	地域・大学連携担当 for Regional Cooperation & University Collaboration	非常勤 鈴木 滋彦 SUZUKI Shigehiko																												
経営担当 for Administration	非常勤 晝馬 明 HIRUMA Akira																																
地域・大学連携担当 for Regional Cooperation & University Collaboration	非常勤 鈴木 滋彦 SUZUKI Shigehiko																																
監事 Auditors	<table border="0"> <tr> <td>非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko</td> </tr> </table>	非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko																															
非常勤 村本 淳子 MURAMOTO Junko																																	
副学長 Vice Presidents	<table border="0"> <tr> <td>病院担当 (病院長) for University Hospital</td> <td>(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko</td> </tr> <tr> <td>教育改革担当 for Educational Reform</td> <td>(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo</td> </tr> <tr> <td>情報・広報担当 for Information & Public Relations</td> <td>(兼)教授 梶村 春彦 Professor SUGIMURA Haruhiko</td> </tr> <tr> <td>研究担当 for Research</td> <td>(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi</td> </tr> <tr> <td>産学連携・知財担当 for Medical Collaboration & Intellectual Property</td> <td>(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa</td> </tr> </table>	病院担当 (病院長) for University Hospital	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko	教育改革担当 for Educational Reform	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo	情報・広報担当 for Information & Public Relations	(兼)教授 梶村 春彦 Professor SUGIMURA Haruhiko	研究担当 for Research	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi	産学連携・知財担当 for Medical Collaboration & Intellectual Property	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa																						
病院担当 (病院長) for University Hospital	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko																																
教育改革担当 for Educational Reform	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo																																
情報・広報担当 for Information & Public Relations	(兼)教授 梶村 春彦 Professor SUGIMURA Haruhiko																																
研究担当 for Research	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi																																
産学連携・知財担当 for Medical Collaboration & Intellectual Property	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa																																
学長特別補佐 Special Advisers to the President	<table border="0"> <tr> <td>国際化促進担当 for Globalization Promotion</td> <td>(兼)教授 福田 敦夫 Professor FUKUDA Atsuo</td> </tr> </table>	国際化促進担当 for Globalization Promotion	(兼)教授 福田 敦夫 Professor FUKUDA Atsuo																														
国際化促進担当 for Globalization Promotion	(兼)教授 福田 敦夫 Professor FUKUDA Atsuo																																
経営協議会 Council for Business Management	<table border="0"> <tr> <td>学長 President</td> <td>今野 弘之 KONNO Hiroyuki</td> </tr> <tr> <td>理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President</td> <td>山本 清二 YAMAMOTO Seiji</td> </tr> <tr> <td>理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President</td> <td>渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi</td> </tr> <tr> <td>理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary</td> <td>佐藤 誠 SATO Makoto</td> </tr> <tr> <td>理事 (経営担当) Executive Director</td> <td>晝馬 明 HIRUMA Akira</td> </tr> <tr> <td>副学長 (病院担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko</td> </tr> <tr> <td>副学長 (教育改革担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo</td> </tr> <tr> <td>副学長 (研究担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi</td> </tr> <tr> <td>副学長 (産学連携・知財担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa</td> </tr> <tr> <td>総合人間科学講座 (情報医学) Biomedical Informatics, Integrated Human Sciences</td> <td>教授 谷 重喜 Professor TANI Shigeki</td> </tr> <tr> <td>再生・感染病理学講座 Regenerative & Infectious Pathology</td> <td>教授 岩下 寿秀 Professor IWASHITA Toshihide</td> </tr> <tr> <td>内科学第二講座 (内分泌・呼吸・肝臓内科学分野) Internal Medicine 2 (Divisions of Endocrinology & Metabolism, Respiratory Medicine & Hepatology)</td> <td>教授 須田 隆文 Professor SUDA Takafumi</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科学講座 Urology</td> <td>教授 三宅 秀明 Professor MIYAKE Hideaki</td> </tr> <tr> <td>麻酔・蘇生学講座 Anesthesiology & Intensive Care Medicine</td> <td>教授 中島 芳樹 Professor NAKAJIMA Yoshiki</td> </tr> <tr> <td>基礎看護学講座 Basic Nursing</td> <td>教授 永田 年 Professor NAGATA Toshi</td> </tr> <tr> <td>臨床看護学講座 Clinical Nursing</td> <td>教授 佐藤 直美 Professor SATO Naomi</td> </tr> </table>	学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki	理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	佐藤 誠 SATO Makoto	理事 (経営担当) Executive Director	晝馬 明 HIRUMA Akira	副学長 (病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko	副学長 (教育改革担当) Vice President	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo	副学長 (研究担当) Vice President	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi	副学長 (産学連携・知財担当) Vice President	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa	総合人間科学講座 (情報医学) Biomedical Informatics, Integrated Human Sciences	教授 谷 重喜 Professor TANI Shigeki	再生・感染病理学講座 Regenerative & Infectious Pathology	教授 岩下 寿秀 Professor IWASHITA Toshihide	内科学第二講座 (内分泌・呼吸・肝臓内科学分野) Internal Medicine 2 (Divisions of Endocrinology & Metabolism, Respiratory Medicine & Hepatology)	教授 須田 隆文 Professor SUDA Takafumi	泌尿器科学講座 Urology	教授 三宅 秀明 Professor MIYAKE Hideaki	麻酔・蘇生学講座 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 中島 芳樹 Professor NAKAJIMA Yoshiki	基礎看護学講座 Basic Nursing	教授 永田 年 Professor NAGATA Toshi	臨床看護学講座 Clinical Nursing	教授 佐藤 直美 Professor SATO Naomi
学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki																																
理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji																																
理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi																																
理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	佐藤 誠 SATO Makoto																																
理事 (経営担当) Executive Director	晝馬 明 HIRUMA Akira																																
副学長 (病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko																																
副学長 (教育改革担当) Vice President	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo																																
副学長 (研究担当) Vice President	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi																																
副学長 (産学連携・知財担当) Vice President	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa																																
総合人間科学講座 (情報医学) Biomedical Informatics, Integrated Human Sciences	教授 谷 重喜 Professor TANI Shigeki																																
再生・感染病理学講座 Regenerative & Infectious Pathology	教授 岩下 寿秀 Professor IWASHITA Toshihide																																
内科学第二講座 (内分泌・呼吸・肝臓内科学分野) Internal Medicine 2 (Divisions of Endocrinology & Metabolism, Respiratory Medicine & Hepatology)	教授 須田 隆文 Professor SUDA Takafumi																																
泌尿器科学講座 Urology	教授 三宅 秀明 Professor MIYAKE Hideaki																																
麻酔・蘇生学講座 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 中島 芳樹 Professor NAKAJIMA Yoshiki																																
基礎看護学講座 Basic Nursing	教授 永田 年 Professor NAGATA Toshi																																
臨床看護学講座 Clinical Nursing	教授 佐藤 直美 Professor SATO Naomi																																
教育研究評議会 Council for Education & Research	<table border="0"> <tr> <td>学長 President</td> <td>今野 弘之 KONNO Hiroyuki</td> </tr> <tr> <td>理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President</td> <td>山本 清二 YAMAMOTO Seiji</td> </tr> <tr> <td>理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President</td> <td>渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi</td> </tr> <tr> <td>理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary</td> <td>佐藤 誠 SATO Makoto</td> </tr> <tr> <td>副学長 (病院担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko</td> </tr> <tr> <td>副学長 (教育改革担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo</td> </tr> <tr> <td>副学長 (研究担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi</td> </tr> <tr> <td>副学長 (産学連携・知財担当) Vice President</td> <td>(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa</td> </tr> </table>	学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki	理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji	理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi	理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	佐藤 誠 SATO Makoto	副学長 (病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko	副学長 (教育改革担当) Vice President	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo	副学長 (研究担当) Vice President	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi	副学長 (産学連携・知財担当) Vice President	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa																
学長 President	今野 弘之 KONNO Hiroyuki																																
理事 (教育・産学連携担当)・副学長 Executive Director/Vice President	山本 清二 YAMAMOTO Seiji																																
理事 (企画・評価担当)・副学長 Executive Director/Vice President	渡邊 裕司 WATANABE Hiroshi																																
理事 (財務担当)・事務局長 Executive Director/Executive Secretary	佐藤 誠 SATO Makoto																																
副学長 (病院担当) Vice President	(兼)教授 松山 幸弘 Professor MATSUYAMA Yukihiko																																
副学長 (教育改革担当) Vice President	(兼)教授 梅村 和夫 Professor UMEMURA Kazuo																																
副学長 (研究担当) Vice President	(兼)教授 北川 雅敏 Professor KITAGAWA Masatoshi																																
副学長 (産学連携・知財担当) Vice President	(兼)教授 中村 和正 Professor NAKAMURA Katsumasa																																

関連教育病院 ▶▶ 浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中区富塚町328番地 病床数/606床(一般600、感染症6)

医学部附属病院 University Hospital

病院長 Director

松山 幸弘
MATSUYAMA Yukihiko

副病院長 Vice Directors

渉外・広報担当 for Public Relations	(兼)教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
教育・研修担当 for Clinical Practice & Teaching	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
運営・管理担当 for Management Reform	(兼)教授 Professor	三宅 秀明 MIYAKE Hideaki
リスクマネジメント担当 for Risk Management	(兼)教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
患者サービス担当 for Patient Service	(兼)看護部長 Head of Nursing	佐々木菜名代 SASAKI Nanayo

診療科(科長) Clinical Care Departments Heads

一般内科 General Medicine	教授 Professor	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiko
第一内科診療科群 Internal Medicine 1	教授 Professor	杉本 健 SUGIMOTO Ken
消化器内科 Division of Gastroenterology	教授 Professor	杉本 健 SUGIMOTO Ken
腎臓内科 Division of Nephrology	病院准教授 Associate Professor	安田日出夫 YASUDA Hideo
第二内科診療科群 Internal Medicine 2	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
内分泌・代謝内科 Division of Endocrinology & Metabolism	講師 Senior Assistant Professor	佐々木茂和 SASAKI Shigekazu
呼吸器内科 Division of Respiratory Medicine	教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
肝臓内科 Division of Hepatology	病院講師 Senior Assistant Professor	川田 一仁 KAWATA Kazuhito
第三内科診療科群 Internal Medicine 3	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
循環器内科 Division of Cardiology	教授 Professor	前川裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
血液内科 Division of Hematology	講師 Senior Assistant Professor	小野 孝明 ONO Takaaki
免疫・リウマチ内科 Division of Immunology & Rheumatology	病院准教授 Associate Professor	小川 法良 OGAWA Noriyoshi
脳神経内科 Neurology	特任教授 Professor	中村 友彦 NAKAMURA Tomohiko
精神科神経科 Psychiatry	教授 Professor	山末 英典 YAMASUE Hidenori
小児科 Pediatrics	教授 Professor	宮入 烈 MIYAIRI Isao
第一外科診療科群 Surgery 1	教授 Professor	椎谷 紀彦 SHIYA Norihiko
心臓血管外科 Division of Cardiovascular Surgery	教授 Professor	椎谷 紀彦 SHIYA Norihiko
呼吸器外科 Division of Thoracic Surgery	病院教授 Professor	船井 和仁 FUNAI Kazuhito
乳腺外科 Division of Breast Surgery	病院講師 Senior Assistant Professor	小倉 廣之 OGURA Hiroyuki
一般外科(内視鏡外科を含む) Division of General Surgery & Endoscopic Surgery	病院講師 Senior Assistant Professor	佐藤 正範 SATO Masanori
第二外科診療科群 Surgery 2	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
上部消化管外科 Division of Esophago-Gastric Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya

下部消化管外科 Division of Colorectal Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
肝・胆・膵外科 Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
血管外科 Division of Vascular Surgery	教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
脳神経外科 Neurosurgery	教授 Professor	黒住 和彦 KUROZUMI Kazuhiko
整形外科 Orthopaedic Surgery	教授 Professor	松山 幸弘 MATSUYAMA Yukihiko
皮膚科 Dermatology	教授 Professor	本田 哲也 HONDA Tetsuya
泌尿器科 Urology	教授 Professor	三宅 秀明 MIYAKE Hideaki
眼科 Ophthalmology	教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	教授 Professor	三澤 清 MISAWA Kiyoshi
産科婦人科 Obstetrics & Gynecology	教授 Professor	伊東 宏晃 ITO Hiroaki
放射線科診療科群 Radiology	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
放射線診断科 Diagnostic Radiology	教授 Professor	五島 聡 GOSHIMA Satoshi
放射線治療科 Radiation Therapy	教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
麻酔科蘇生科 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
歯科口腔外科 Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery	教授 Professor	増本 一真 MASUMOTO Kazuma
リハビリテーション科 Rehabilitation	病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
形成外科 Plastic & Reconstructive Surgery	特任教授 Professor	中川 雅裕 NAKAGAWA Masahiro
臨床薬理内科 Clinical Pharmacology & Therapeutics	教授 Professor	乾 直輝 INUJI Naoki
病理診断科 Diagnostic Pathology	病院教授 Professor	馬場 聡 BABA Satoshi
小児外科 Pediatric Surgery	特任准教授 Associate Professor	奈良 啓悟 NARA Keigo
救急科 Emergency Medicine	教授 Professor	吉野 篤人 YOSHINO Atsuto

中央診療施設 Central Clinical Facilities

診療部門 Clinical Divisions

薬剤部 Hospital Pharmacy	部長 Head	教授 Professor	川上 純一 KAWAKAMI Junichi
検査部 Clinical Laboratories	部長 Head	(兼)教授 Professor	前川 真人 MAEKAWA Masato
手術部 Surgical Operation Center	部長 Head	(兼)教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
放射線部 Radiological Center	部長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
材料部 Central Supply	部長 Head	(兼)教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
病理部 Diagnostic Pathology	部長 Head	病院教授 Professor	馬場 聡 BABA Satoshi
救急部 Emergency Unit	部長 Head	(兼)教授 Professor	吉野 篤人 YOSHINO Atsuto
集中治療部 Intensive Care Unit	部長 Head	特任准教授 Associate Professor	土井 松幸 DOI Matsuyuki
輸血・細胞治療部 Transfusion & Cell Therapy	部長 Head	病院教授 Professor	竹下 明裕 TAKESHITA Akihiro
光学医療診療部 Endoscopic & Photodynamic Medicine	部長 Head	講師 Senior Assistant Professor	大澤 恵 OSAWA Satoshi
血液浄化療法部 Transfusion & Cell Therapy	部長 Head	病院教授 Professor	加藤 明彦 KATO Akihiko
リハビリテーション部 Rehabilitation Center	部長 Head	病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
周産母子センター Perinatal Center	センター長 Head	(兼)教授 Professor	伊東 宏晃 ITO Hiroaki
遺伝子診療部 Clinical & Molecular Genetics Center	部長 Head	(兼)教授 Professor	堀田 喜裕 HOTTA Yoshihiro
栄養部 Clinical Nutrition Unit	部長 Head	(兼)病院教授 Professor	加藤 明彦 KATO Akihiko
外来診療部 Outpatient Clinics	部長 Head	(兼)教授 Professor	須田 隆文 SUDA Takafumi
造血細胞移植センター Center for Hematopoietic Cell Trans-plantation	センター長 Head	(兼)講師 Senior Assistant Professor	小野 孝明 ONO Takaaki
神経・難病センター Neurological and Intractable Diseases Center	センター長 Head	(兼)特任教授 Professor	中村 友彦 NAKAMURA Tomohiko
腫瘍センター Oncology Center	センター長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
看護部 Nursing	部長 Head		佐々木菜名代 SASAKI Nanayo

支援部門 Support Divisions

医療情報部 Medical Informatics	部長 Head	教授 Professor	木村 通男 KIMURA Michio
医療機器管理部 Medical Instruments Administrative Center	部長 Head	(兼)教授 Professor	中島 芳樹 NAKAJIMA Yoshiki
診療情報管理部 Medical Records	部長 Head	(兼)教授 Professor	前川 裕一郎 MAEKAWA Yuichiro
肝疾患連携相談室 Liver Health Support & Counselling Services	室長 Head	(兼)病院講師 Senior Assistant Professor	川田 一仁 KAWATA Kazuhito
医療福祉支援センター Medical Welfare Support Center	センター長 Head	特任教授 Professor	小林 利彦 KOBAYASHI Toshihiko
卒後教育センター Postgraduate Clinical Education Center	センター長 Head	(兼)教授 Professor	中村 和正 NAKAMURA Katsumasa
女性医師支援センター Woman doctor Support Center	センター長 Head	(兼)病院教授 Professor	山内 克哉 YAMAUCHI Katsuya
看護師特定行為研修センター Advanced Nurse Training Center	センター長 Head	(兼)特任准教授 Associate Professor	土井 松幸 DOI Matsuyuki
臨床研究センター Center for Clinical Research	センター長 Head	(兼)教授 Professor	乾 直輝 INUJI Naoki
医療安全管理室 Medical Safe Management	室長 Head	(兼)教授 Professor	竹内 裕也 TAKEUCHI Hiroya
医療放射線安全管理室 Medical Radiation Safety Management Center	室長 Head	(兼)教授 Professor	五島 聡 GOSHIMA Satoshi
感染対策室 Infection Control & Prevention Center	室長 Head	(兼)教授 Professor	前川 真人 MAEKAWA Masato



昭和56年頃 (1981)



平成27年頃 (2015)

職員数 Staff

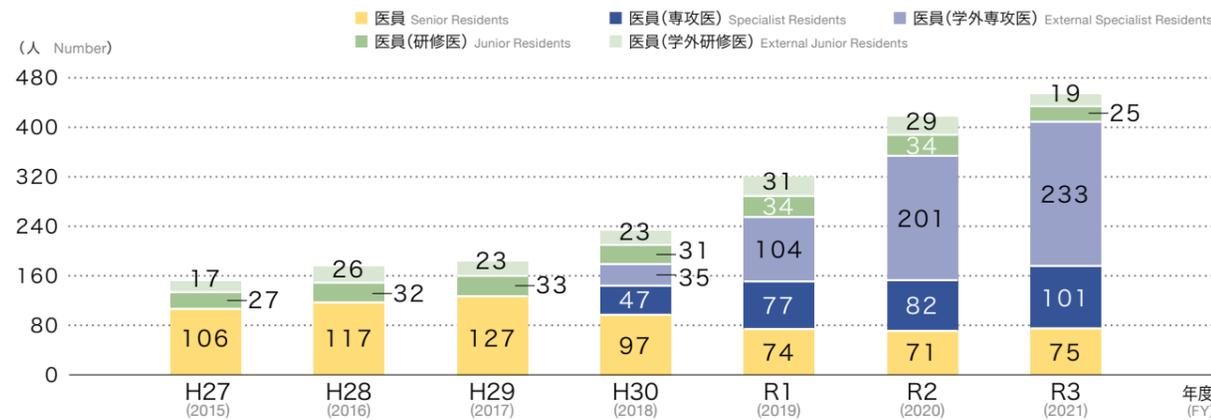
区分 Classification	学長 President	理事 Executive Directors	監事 Auditors	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Senior Assistant Professors	助教 Assistant Professors	計 Total	事務等 Technical & Administrative Staff	合計 Grand Total	
事務局等 Administration Bureau	男 Male	1	5	1				7	101	108	
	女 Female			1				1	54	55	
医学部 School of Medicine	男 Male			47 (5)	26 (4)	2 (1)	70 (16)	145 (26)	4	149 (26)	
	女 Female			10 (2)	9 (1)	1	24 (6)	44 (9)	4	48 (9)	
附属病院 University Hospital	男 Male			5 (3)	12 (5)	28 (2)	81 (1)	126 (11)	163	289 (11)	
	女 Female					6 (2)	30 (4)	36 (6)	784	820 (6)	
光先端医学教育研究センター Preeminent Medical Photonics Education & Research Center	男 Male			3 (1)	3		5 (2)	11 (3)	13	24 (3)	
	女 Female			1	1		2 (1)	4 (1)	6	10 (1)	
産学連携・知財活用推進センター Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property	男 Male					1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	
	女 Female					1	1 (1)	2 (1)	1	3 (1)	
保健管理センター Health Administration Center	男 Male					1		1		1	
	女 Female								1	1	
医療廃棄物処理センター Center for Medical Waste Management	男 Male								2	2	
	女 Female								1	1	
子どものこころの発達研究センター Research Center for Child Mental Development	男 Male			1 (1)			2 (2)	3 (3)		3 (3)	
	女 Female					1 (1)	2 (2)	3 (3)		3 (3)	
医学教育推進センター Medical Education Center	男 Male					1 (1)		1 (1)		1 (1)	
	女 Female										
国際化推進センター International Center	男 Male										
	女 Female					1 (1)		1 (1)		1 (1)	
合計 Total	男 Male	1	5	1	56 (10)	41 (9)	32 (4)	159 (22)	295 (45)	283	578 (45)
	女 Female			1	11 (2)	10 (1)	10 (4)	59 (14)	91 (21)	851	942 (21)
	合計 Total	1	5	2	67 (12)	51 (10)	42 (8)	218 (36)	386 (66)	1,134	1,520 (66)

()内は特任教員を内数で示す The numbers in () indicate contract-based staff
休職者は除く Data on May 1, 2021

区分 Classification	医員 Senior Residents	医員(専攻医) Specialist Residents	医員(研修医) Junior Residents	合計 Total
男 Male	50	71	16	137
女 Female	25	30	9	64
合計 Total	75	101	25	201

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

医員及び医員(専攻医・研修医)の推移 Transition of Senior, Specialist & Junior Residents



各年5月1日現在 Data on May 1 each year
平成30年度より新専門医制度開始

附属図書館 University Library



附属図書館は、Society5.0型図書館、スマート・ライブラリとして、学術情報の収集、提供のみでなく、本学で生産された論文や、授業の動画教材を発信するプラットフォームとして機能しています。

また、令和2年に全面改修を行い、福祉施設棟と一体化し、国際化推進センター、書店などを配置し、学生生活の活動拠点として、様々な学修スタイルのニーズに応じた居心地の良い空間を提供しています。

さらには、静岡大学や浜松市立図書館との連携、近隣医療従事者への資料の貸出、県内外の病院図書室等と連携した文献複写提供サービスなど幅広いサービスを行っています。

The library has the functions of Society 5.0 and called "Smart Library". It not only collects and provides academic information, but also serves as a platform for transmitting academic papers produced by the University and video materials for lessons.

It was completely renovated in 2020, integrated with Welfare Facilities, and set up International Center and a bookstore. As a student activity base, a cozy space that meets the needs of various learning styles is offered.

In addition, we provide a wide range of services such as cooperation with Shizuoka University and Hamamatsu Municipal Library, lending materials to neighboring medical staff, and providing copy service of documents in cooperation with hospitals inside and outside the prefecture.

開館時間 Library Opening Hours

平日 Monday to Friday 9:00~20:00
土・日曜 Saturday & Sunday 10:00~17:00

本学構成員は、24時間入館可能な特別利用制度を利用できます。
24 hour access to the library is available to students and faculty members by registering their ID cards.

貴重資料

明治11~12年に浜松医学校
教官らが米国の医学書を翻訳
出版した『七科約説』



利用状況 Utilization

区分 Classification	学内者 Intramural	学外者 Extramural	合計 Total	
入館者数 the Number of Visitors	開館時間内 Regular Hours	65,928	43	65,971
	開館時間外 After Hours	35,913	64	35,977
	合計 Total	101,841	107	101,948



1階 サイレントエリア
1st Floor Silent Area

区分 Classification	図書 Books	雑誌 Journals	視聴覚資料 AV Materials
貸出数 the Number of Items Borrowed	7,426	170	106

区分 Classification	受付数(件) Requests Accepted	依頼数(件) Requests Made to Outside
文献複写 Copying Service	773	1,565

令和2年度 FY 2020



1階 集密書庫
1st Floor Stacks

蔵書数 Library Collection

区分 Classification	和 Japanese	洋 English	合計 Total
図書 Books	42,523	6,674	49,197
(うち視聴覚資料) (Include AV Materials)	967		967
雑誌 Journals	430	330	760
電子書籍 eBooks	1,271	67	1,338

令和3年3月31日現在 Data on March 31, 2021

資料受入数 Books and Journals Accepted

区分 Classification	和 Japanese	洋 English	合計 Total
図書 Books	1,702	273	1,975
(うち視聴覚資料) (Include AV Materials)	100		100
雑誌 Journals	180	22	202
電子ジャーナル Electronic Journals	1,606		1,606
電子書籍 eBooks	265	23	288

令和2年度 FY 2020



2階 コラボレーションエリア
2nd Floor Collaboration Area

学内共同教育研究施設 Joint-use Facilities for Education and Research

光先端医学教育研究センター

Preeminent Medical Photonics Education & Research Center

TEL(053)435-2398

センター長 間賀田 泰寛

Director Prof. MAGATA Yasuhiro

フォトニクス医学研究部

Institute for Medical Photonics Research

TEL(053)435-2329

部長 星 祥子 Chairperson Prof. HOSHI Yoko 副部長 尾内 康臣 Vice Chairperson Prof. OUCHI Yasuomi

フォトニクス医学研究部は、量子医学研究センターと分子イメージング先端研究センターの統合によるメディカルフォトニクス研究センターを母体とし、光・電子工学技術を活用した医学研究と、優れた医療人・研究者の育成を使命としています。革新的光イメージング技術と最先端医療技術・機器の開発、分子から個体までマルチレベルイメージングによる生体機能・構造研究、様々な疾患の治療・診断法確立を目指して、ヒト、動物、培養細胞・組織を対象とする多彩な研究を進めています。

The Institute for Medical Photonics Research was launched in 2016 based on the Medical Photonics Research Center. Our mission is to perform medical researches utilizing optoelectronic technologies and develop human resources. Current topics of this institute include: (1) developments of innovative optical imaging and cutting-edge medical technologies & instruments, (2) research of biomedical structure and function with multi-level imaging, and (3) elucidating pathogenesis and establishing diagnosis and treatment of various diseases.



医用動物資源支援部

Laboratory Animal Facilities & Services

TEL(053)435-2000

部長 鈴木 哲朗 Chairperson Prof. SUZUKI Tetsuro 副部長 高林 秀次 Vice Chairperson Associate Prof. TAKABAYASHI Shuji

医用動物資源支援部は動物実験施設の運営を担っており、光医学および医学研究全般における動物実験の場を提供しています。さらに、専門知識を持った職員が施設利用者に対して動物実験に関する知識及び技術の支援を行っています。具体的には遺伝子改変動物の作製などの発生工学支援及び静脈内投与など動物実験の支援を行っています。独自の研究としては、ヒト疾患モデル動物作製及び新規ゲノム編集技術の開発研究を行い、学内外共同研究の推進を図っています。

The Laboratory Animal Facilities & Services is responsible for the the management of the Institute for Experimental Animals, and provides a place for animal experiments in medical photonics and medical research for researchers and students. In addition, the professional staff for animal experiments provide facility users with knowledge and techniques related to developmental engineering and animal experiments. As our original research, we are developing human disease model animals and developing new genome editing technology.



産学連携・知財活用推進センター

Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property

TEL(053)435-2230, 2681

センター長 中村 和正 Head Prof. NAKAMURA Katsumasa

本学では、平成16年の国立大学法人化と同時に知財活用推進本部を設置し、さらに、平成31年に産学連携・知財活用推進センターへと組織改編を行いました。本センターでは、学内ニーズ・シーズ発掘、企業とのニーズ・シーズマッチング、研究支援・研究進捗管理、奨学寄附金・共同研究・受託研究等の受入審査・締結、知財の管理、研究成果・有体物管理、産学連携共同利用設備・施設管理運営、外部資金導入支援、学内外への情報発信などを実施しています。

The Promotion Center for Medical Collaboration & Intellectual Property was established in 2004 and reorganized in 2019. The mission of this Center includes (1) uncovering the needs/seeds within our University, (2) matching of needs/seeds between our University and appropriate companies, (3) research support and progress management, (4) examination and contact making of donations and collaborations, (5) administration of intellectual properties, (6) management of research products, (7) management of collaboration facilities and devices, (8) promotion of external funding, and (9) information dispatch within our University and social community. We would like to ask for your kind support of our Center.



本センターでは、本学の強みである「光技術とイメージングの医学応用」及び「産学連携によるものづくり」の実績を活かしつつ、さらに先鋭化して、他分野の方法・技術も取り入れながら、新たな基礎/応用研究・実用化開発・教育(人材養成)を医学部各講座とともに推進しています。

Based on our strengths in "optical technology and imaging in medical applications" and "manufacturing through industry-academia collaboration", this center aims to promote novel R&Ds (basic research, applied research and practical research) and developments of human resources while further sharpening past achievements and incorporating other fields methods and technologies in cooperation with each department of School of Medicine.

先進機器共用推進部

Advanced Research Facilities & Services

TEL(053)435-2300

部長 福田 敦夫 Chairperson Prof. FUKUDA Atsuo 副部長 内田 千晴 Vice Chairperson Associate Prof. UCHIDA Chiharu

先進機器共用推進部は、先進機器研究推進室と機器共用支援部門から成り、医工連携拠点棟(平成31年3月8日完成)、基礎臨床研究棟、RI棟及び動物実験施設増設棟内に複数の共同実験室を有しています。当部の役割は、教育研究設備の共同利用及びその運営体制の統合により、研究の効率化と発展につなげることです。先進機器研究推進室では先進機器を活用した学内共同研究を推進し、機器共用支援部門では、専門知識と技術をもった職員が共用研究機器を用いた受託解析等を行い、本学の教育研究支援を担っています。

Advanced Research Facilities and Services (ARFS) comprise of Laboratory for Promotion of Advanced Research (LPA) and Core Biotechnology Services (CBS).

The aim of LPAR is to contribute to promoting both basic and clinical research through utilization of instruments in ARFS and inter-departmental collaboration. The staff help researchers and directly contribute to the advancement of education and research in biomedical sciences. One of our collaborative areas addresses is the dysfunction of the cell cycle regulators, which could be a cause of several human diseases including cancers and chronic disorders.



ナノスーツ開発研究部

Institute for NanoSuit Research

TEL(053)435-2504

部長 河崎 秀陽 Chairperson Associate Prof. KAWASAKI Hideya

ナノスーツ開発研究部は、平成29年4月に新規設置されました。溶液から自立薄膜を形成させる「ナノスーツ®法」は、高真空下で生物体内からガスや液体が抜けることを防ぎ、生命維持できる技術です。このナノ薄膜を用いて高真空を必要とする電子顕微鏡で生きたまま・濡れたままの生体観察を可能としました。この研究部では、生物学・医学・材料科学など種々の学問分野を横断的に統合し、別々の方法と視点から、「ナノスーツ®法」の課題の解決を目指し、研究開発に努めます。

The Institute for NanoSuit Research was launched in 2017. Our research deals with the progressive development of the "NanoSuit®" which acts as a flexible barrier to the passage of gases and liquids and thus protects many organisms in high vacuum conditions such as electron microscopes. Studies in this new field are combined with several different disciplines; biological, medical and material sciences. As individual scientists apply different methodological tools, their cross communication with various colleagues who tackle the same problems may produce multiple new findings.



保健管理センター

Health Administration Center

TEL(053)435-2156, 2158

センター長 山末 英典 Head Prof. YAMASUE Hidenori

保健管理センターは学生と職員の健康を保持・増進するために、昭和60年に設置されました。平成25年度に施設内部を全面改修し、医師・保健師・臨床心理士などを充実して、より一層プライバシーを尊重した環境で、「こころ」と「からだ」両面の相談が行えるようになりました。令和2年度からは、コロナ禍のメンタルヘルスケアやオンライン機器でのリモート面談も開始しました。学内外の関連部門・施設とも連携しており、健康診断とその事後措置だけでなく、学内の環境衛生の整備、感染症対策、保健管理に関する調査・研究にも力を入れています。

This center contributes to the maintenance and promotion of the health of students and the staff, and thus to the achievement of student education and various activities of the university staff. We also conduct annual medical checks and medical consultations on both physical and mental health through direct or remote conversations considering the COVID-19 pandemic, as well as investigations of health problems.



安全衛生管理センター Center for Safety & Hygiene Administration

TEL(053)435-2187

センター長 佐藤 誠 Head Executive Director SATO Makoto

安全衛生管理センターは平成15年4月に設置され、安全衛生管理に関する全学的事項を企画・立案するとともに、教育・研究に伴って発生するおそれのある環境汚染、健康障害、事故及び災害に対する安全衛生管理の徹底を図ることを目的としています。

主な取組としては、労働安全衛生法ならびに関係法令規則に基づく学内巡視、作業環境測定、局所排気装置の自主検査、薬品管理状況調査、雇入時安全衛生教育等に加え、安全衛生講演会を毎年開催しています。

The Center for Safety & Hygiene Administration was founded in April 2003. The Center's primary missions are to draft plans to achieve projects concerning the University's hygiene and safety and to seek the thorough implementation of the guidelines for the prevention of environmental pollution, health hazards, accidents and disasters related to the University's educational and research activities.

The important objectives are: to assess the working environments according to the Industrial Safety and Health Law and related laws and regulations, to promote the safety and health of workers and to secure a safer and healthier working environment.



医療廃棄物処理センター Center for Medical Waste Management

TEL(053)435-2159

センター長 藤本 忠蔵 Head Prof. FUJIMOTO Chuzo

医療廃棄物処理センターでは、大学の研究室や病院から排出される廃水を活性汚泥や活性炭吸着などで適正に処理し、水質の分析を行ってから下水道に放流しています。また、廃溶剤、廃酸、不要になった薬剤や実験器具などを回収し、適切な処理方法により分類してから廃棄物処理業者に処分を委託しています。さらに、教職員・学生に対して、大学での廃水や医療系も含む廃棄物全般について分別処理方法の指導を行っています。

Wastewater from the University Hospital and laboratories is delivered to the sewage treatment plant in the Center for Medical Waste Management. The sewage treatment processes include settlement in a pool, activated sludge treatment with anaerobic and aerobic bacteria, sedimentation, coagulation, and filtration with sand and activated carbon. The treated wastewater is subjected to water examination before it is discharged into the public sewer.

Waste organic solvents, waste acid and alkaline solutions, unused chemicals, and failed apparatuses are collected at this center; the disposal of those wastes is outsourced.

Moreover, lectures on effluent treatment and separation of waste are provided to both students and staff.



情報基盤センター Information Technology Center

TEL(053)435-2182

センター長 谷 重喜 Head Prof. TANI Shigeki

情報基盤センターは、学内のネットワーク、メールサーバ、大学HPなど各種基幹サーバ、情報系実習室など、大学の情報基盤を提供、運営しています。学内随所に無線LANのスポットが設置され、情報系実習室では教師と学生の双方向の画面提示や操作が可能となっています。今後も時代を先取りする情報基盤を提供していきます。

The Information Technology Center provides the information infrastructure of the university. It supports the network, email system, servers and information technology use, including the intermediation of document retrieval.

Our wireless network is designed to be a convenient supplement to the wired network for general functions such as Web browsing and email. Wireless "access points" located throughout many buildings and common areas of the campus allow compatible wireless devices to connect to the University's network with authenticated access to the Internet.

The University computer room for information processing allows interactive communication among students and teachers. The center contributes to the convenience of the user by its advanced Information Infrastructure.



子どものこころの発達研究センター Research Center for Child Mental Development

TEL(053)435-2331

センター長 山末 英典 Head Prof. YAMASUE Hidenori

同センターを設置する他大学(大阪大学、金沢大学、千葉大学、福井大学、弘前大学)と連携して、当センターは子どもの発達にかかわる研究に多面的、有機的に取り組んできています。本学センターでは一例として、浜松出生コホートを運営し、子どもの発達における、心理発達に限らず発達上の諸々の問題を明らかにしようと、長期追跡疫学調査を展開しています。また、同時に運営する連合小児発達学研究所(大学院)における教育活動を通して、子どものこころの専門家を育成してきています。

The center has been devoting itself to research linked with public health, mental health and various realms of developments in children, extending to multidisciplinary activities, while in collaboration with other universities (Osaka University, Kanazawa University, Chiba University, Fukui University, and Hiroaki University). One of activities includes initiation of the Hamamatsu Birth Cohort (HBC) studies in which about 1,200 children have been followed up since November 2007 to ascertain a wide range of developments, i.e., physical health as well as neuropsychological milestones, to elucidate problems or hardship which children undergo and to discover preventive measures. At the same time, we are fostering professionals who specialize in the mind (mental health) of children through educational programs run by the United Graduate School of Child Development (postgraduate courses) under the joint-organization of 5 universities: Osaka U, Kanazawa U, HUSM, Chiba U, and Fukui U.



医学教育推進センター Medical Education Center

TEL(053)435-2843

センター長 梅村 和夫 Head Prof. UMEMURA Kazuo

副センター長 五十嵐 寛 Vice Head Prof. IGARASHI Hiroshi

医学教育推進センターは、本学の教育に関する諸活動を体系的に行い、教育の質の向上を図ることを目的に、平成24年4月に設置されました。主な活動として、教育システム及びカリキュラム、PBL-チュートリアル教育、医学概論、参加型臨床実習等に関する調査、研究及び実施を行っています。

さらに、それらを横断的に統括し、より良いカリキュラムを構築するための活動をしています。また、教育学的理論に基づいたカリキュラム改革を進め、医学教育に関する最新情報の発信基地として位置づけられています。

The Medical Education Center was founded in April 2012. The Center manages, organizes and implements the education systems for the medical school of Hamamatsu University School of Medicine, including curriculums and evaluation systems especially for PBL (Problem-Based Learning), clinical clerkship, and Education for developing medical Professionalism. The mission of the Center is to keep our educational systems at world standard levels and to improve them progressively.



総合診療教育研究センター General-Family Medicine Education & Research Center (GMEC)

TEL(053)435-2113

(総務課総務係)

センター長 中村 和正 Head Prof. NAKAMURA Katsumasa

副センター長 井上 真智子 Vice Head Prof. INOUE Machiko

地域で家庭医療を専門とする総合診療医の養成と地域への定着を促進し、静岡県の地域医療の充実に貢献することを目的としています。学部学生の教育、医学部附属病院の初期研修プログラム、専門研修プログラムの総括・管理・運営、教育・研究の支援、推進体制・指導体制・地域との連携や調整等を行っています。教育研究の実務は、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センター等の地域の現場で行っています。

The mission of the center is to train family physicians who provide primary care in local communities. The tasks of the center are to teach medical students, interns and residents the principles of family/general medicine and to develop and manage the educational programs enriched with support for research activities and cooperation with local governments. Clinical education is provided mainly at three community clinics in Mori-machi, Kikugawa and Omaezaki.



国際マスマイミージングセンター International Mass Imaging Center

TEL(053)435-2086

センター長 瀬藤 光利 Head Prof. SETOU Mitsutoshi 副センター長 梶村 春彦 Vice Head Prof. SUGIMURA Haruhiko

国際マスマイミージングセンターは、平成28年4月に設置されました。米国、ドイツに並ぶアジアのグローバルデモ拠点として選出され、マスマイミージングの手法の標準化に取り組んでいます。また、平成28年4月から先端研究基盤共用促進事業に採択され、ブルカ一社、日本ウォーターズ及び株式会社島津製作所との共同研究の成果を基にマスマイミージングの共用利用を促進しています。さらには浜松ホトニクス株式会社とも共同研究を遂行しています。

In April 2016, we launched the International Mass Imaging Center. This center was selected as a global demonstration base for Imaging Mass Spectrometry (IMS) technology in Asia. Our main mission is to standardize IMS techniques by international collaboration with IMS bases in the United States and Germany. We adopted the Operations for Promoting Science and Technology System Reform in April 2016, and are promoting the cooperation of Imaging Mass Spectrometry based on the achievement of the studies collaborated with Bruker K.K, Nihon Waters K.K. and Shimadzu Corporation. We are also engaged in collaborative research projects with HAMAMATSU Photonics K.K.



国際化推進センター International Center

TEL(053)435-2208

(学務課国際化推進室国際渉外係)

センター長 才津 浩智 Head Prof. SAITSU Hirotomo

本センターは、本学の国際教育(留学生の受け入れや生活支援、学生の英語能力の強化等)、国際情報発信及び国際的学術交流(国際シンポジウムや大学間交流協定、共同研究コーディネート等)を推進することを目的として平成31年度に新たに設立されました。センター長、専任教員、学務課国際化推進室に、令和2年度からは英語科の外国人教員が加わり、全学的連携によって国際化を進めています。

This center promotes international education of our university (acceptance of foreign students and life support, strengthening the English ability of students, etc.), information dissemination to overseas, and international networking (international symposia, inter-university exchange agreement, collaborative research coordination, etc.). It was newly established in 2019. The Center Director, a full-time faculty member, the internationalization promotion office, and foreign faculty members from the English department will promote internationalization through university-wide collaboration.



医学部附属病院 University Hospital

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

1. 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
2. 社会・地域医療への貢献
3. 良質な医療人の育成
4. 高度な医療の追求
5. 健全な病院運営の確立



看護体系

承認病床数	区分	看護配置等	届出年月日
613床	一般病棟(576床)	特定機能病院 入院基本料 7:1	平成21年5月1日
	精神病棟(37床)	特定機能病院 入院基本料 13:1	平成23年7月1日

先進医療承認一覧

先進医療の名称	算定開始年月日
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	平成30年 1月1日 令和3年4月1日現在

医療機関の指定状況等

法令等の名称	許可機関名	指定等の年月日
医療法による開設許可(承認)	厚生労働省	昭和52年 3月29日
健康保険法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年 11月15日
国民健康保険法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年 11月15日
母子保健法による妊娠乳児健康診断	静岡県ほか一部の地方自治体	昭和53年 2月 1日
戦傷病者特別援護法による医療機関	厚生労働省	昭和53年 4月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療(精神通院医療)	静岡県	昭和53年 7月 1日
母子保健法による養育医療	厚生労働省	昭和53年 7月22日
労災補償法による医療機関	静岡労働基準局	昭和53年 8月 1日
原爆医療法による一般医療疾病医療機関	静岡県	昭和54年 2月 1日
トロトラスト沈着症に対する定期検診の指定医療機関	静岡県	昭和54年 8月 1日
臨床修練指定病院(外国人医師・外国人歯科医師)	厚生労働省	昭和63年 3月29日
消防法による救急医療(救急病院)	静岡県	平成 4年 2月12日
特定機能病院の名称承認	厚生労働省	平成 7年 3月 1日
エイズ治療の拠点病院	静岡県	平成 8年 3月19日
地域災害拠点病院	静岡県	平成 8年 12月26日
結核指定医療機関	浜松市	平成10年 6月17日
地域周産母子医療センター	静岡県	平成10年 10月 1日
日本医療機能評価認定病院	公益財団法人日本医療機能評価機構	平成16年 4月19日
開放型病院	厚生労働省	平成17年 5月 1日
難病医療拠点病院	静岡県	平成19年 4月 1日
後期高齢者医療保険取扱機関	厚生労働省	平成20年 4月 1日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	静岡県	平成21年 3月10日
静岡DMAT指定病院	静岡県	平成24年 3月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療機関(育成医療)(更生医療)	浜松市	平成24年 12月 1日
新型インフルエンザ等対策特別措置法における指定地方公共機関	静岡県	平成26年 2月25日
生活保護法による医療機関	厚生労働省	平成26年 7月 1日
難病の患者に対する医療法に関する法律(難病法)に係る指定医療機関	静岡県	平成27年 1月 1日
児童福祉法による指定小児慢性特定疾病医療機関	浜松市	平成27年 1月 1日
ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に係る協力医療機関	静岡県	平成27年 2月 1日
がんゲノム医療連携病院	厚生労働省	平成30年 4月 1日
労働者災害補償保険救済指型指導医療機関	静岡労働局	平成30年 7月 1日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	静岡県	平成30年 10月 1日
静岡県原子力災害拠点病院	静岡県	平成30年 10月 1日
看護師特定行為研修指定研修機関	厚生労働省	平成31年 2月21日
静岡県難病診療連携拠点病院	静岡県	平成31年 3月28日
静岡県地域リハビリテーション協力機関	静岡県	令和 2年 3月31日
地域がん診療連携拠点病院(高度型)	厚生労働省	令和 3年 3月29日

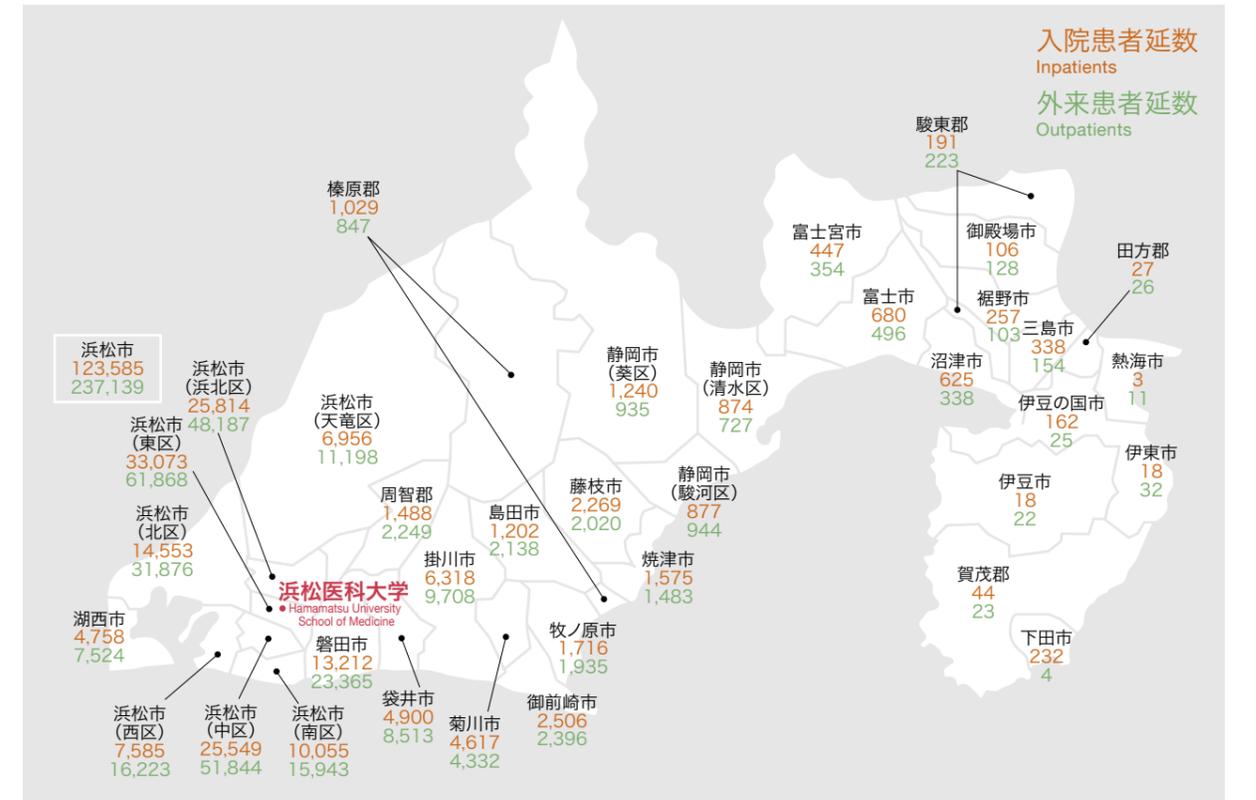


診療科別患者数 Clinical Activities

診療科 Clinical Care Departments			入院患者 Inpatients		外来患者 Outpatients	
			延数 Total	1日平均数 Average per Day	延数 Total	1日平均数 Average per Day
第一内科 Internal Medicine 1	消化器内科 Gastroenterology	8,663	23.7	13,379	55.1	
	腎臓内科 Nephrology	4,669	12.8	7,416	30.5	
	脳神経内科 Neurology	3,195	8.8	3,244	13.3	
第二内科 Internal Medicine 2	内分泌・代謝内科 Endocrinology & Metabolism	2,175	6.0	21,500	88.5	
	呼吸器内科 Respiratory Medicine	10,266	28.1	13,791	56.8	
	肝臓内科 Hepatology	4,166	11.4	5,807	23.9	
第三内科 Internal Medicine 3	循環器内科 Cardiology	10,284	28.2	14,467	59.5	
	血液内科 Hematology	7,094	19.4	7,085	29.2	
	免疫・リウマチ内科 Immunology & Rheumatology	2,443	6.7	4,452	18.3	
	精神科神経科 Psychiatry	10,579	29.0	15,541	64.0	
	小児科 Pediatrics	12,929	35.4	14,827	61.0	
第一外科 Surgery 1	心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	6,313	17.3	3,142	12.9	
	呼吸器外科 Thoracic Surgery	2,695	7.4	2,584	10.6	
	乳腺外科 Breast Surgery	1,675	4.6	8,313	34.2	
	一般外科 General Surgery & Endoscopic Surgery	1,314	3.6	1,001	4.1	
第二外科 Surgery 2	上部消化管外科 Esophago-Gastric Surgery	8,616	23.6	5,095	21.0	
	下部消化管外科 Colorectal Surgery	5,314	14.6	5,792	23.8	
	肝・胆・膵外科 Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	3,603	9.9	3,372	13.9	
	血管外科 Vascular Surgery	2,055	5.6	3,557	14.6	
	脳神経外科 Neurosurgery	9,825	26.9	7,284	30.0	
	整形外科 Orthopaedic Surgery	16,840	46.1	23,967	98.6	
	皮膚科 Dermatology	3,867	10.6	22,455	92.4	
	泌尿器科 Urology	10,224	28.0	16,123	66.3	
	眼科 Ophthalmology	4,919	13.5	19,229	79.1	
	耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	10,112	27.7	19,102	78.6	
	産科婦人科 Obstetrics & Gynecology	11,558	31.7	16,899	69.5	
放射線科 Radiology	放射線診断科 Diagnostic Radiology	95	0.3	106	0.4	
	放射線治療科 Radiation Therapy	1,185	3.2	10,620	43.7	
	麻酔科蘇生科 Anesthesiology & Intensive Care Medicine	38	0.1	2,568	10.6	
	歯科口腔外科 Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery	1,481	4.1	13,090	53.9	
	リハビリテーション科 Rehabilitation	186	0.5	6,050	24.9	
	形成外科 Plastic & Reconstructive Surgery	3,311	9.1	5,280	21.7	
	臨床薬理内科 Clinical Pharmacology & Therapeutics	0	-	432	1.8	
	小児外科 Pediatric Surgery	378	1.0	1,168	4.8	
	救急部 Emergency Unit	1,691	4.6	3,086	12.7	
	遺伝子診療部 Clinical & Molecular Genetics Center	0	-	3	0.0	
	合計 Total	183,758	503.4	321,827	1324.4	

令和2年度 FY 2020

静岡県内入院・外来患者延数 Total Number of Inpatients & Outpatients in Shizuoka Prefecture



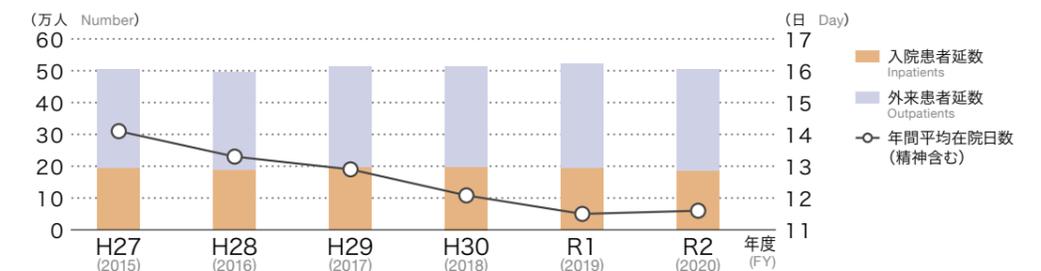
令和2年度 FY 2020

患者数の推移 Transition of Total Number of Inpatients & Outpatients

区分 Classification	H27年度 FY 2015	H28年度 FY 2016	H29年度 FY 2017	H30年度 FY 2018	R1年度 FY 2019	R2年度 FY 2020
入院患者延数 Inpatients	195,484	188,421	197,752	195,918	195,775	183,758
外来患者延数 Outpatients	308,746	307,389	314,867	321,082	329,919	321,827
年間平均在院日数(精神含む)	14.1	13.3	12.9	12.1	11.5	11.6

年間平均在院日数については、実数での平均在院日数を示す(保険上の3か月平均在院日数ではない)

令和2年度 FY 2020



地域別患者数 Total Number of Inpatients & Outpatients by Region

東海 Tokai	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients	その他 Other	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients	その他 Other	入院患者延数 Inpatients	外来患者延数 Outpatients
静岡県 Shizuoka	175,314	308,194	北海道 Hokkaido	0	7	近畿 Kinki	296	267
愛知県 Aichi	6,518	11,656	東北 Tohoku	188	30	中国・四国 Chugoku-Shikoku	54	66
三重県 Mie	78	121	関東 Kanto	884	1,022	九州・沖縄 Kyushu-Okinawa	32	60
岐阜県 Gifu	147	258	信越・北陸 Shinsetsu-Hokuriku	247	146	合計 Total	183,758	321,827

令和2年度 FY 2020

国際交流 International Exchanges

国際交流協定・姉妹校 Universities with Agreements for Cooperation

大学名等(国名) University (COUNTRY)	締結開始日 Agreement Started	協定等の内容 Cooperation Contents
中国医科大学(中国) China Medical University (CHINA)	1988. 4. 29	姉妹校協定 Sister School
慶北大学校医科大学(韓国) Kyungpook National University School of Medicine (KOREA)	1992. 9. 7	学術交流協定 Academic Exchange
慶北大学校看護大学(韓国) Kyungpook National University College of Nursing (KOREA)	2005. 9. 23	学術交流協定 Academic Exchange
上海交通大学医学院(中国)(旧:上海第二医科大学) Shanghai Jiao Tong University School of Medicine (CHINA)	2000. 3. 24	学術交流協定 Academic Exchange
フライブルク大学医学部(ドイツ) Faculty of Medicine, Albert-Ludwigs University of Freiburg (GERMANY)	2003. 6. 30	学術交流協定 Academic Exchange
河南中医薬大学(中国)(旧:河南中医学院) Henan University of Chinese Medicine (CHINA)	2003. 12. 8	学術交流協定 Academic Exchange
ピャウイストク医科大学(ポーランド) Medical University of Bialystok (POLAND)	2004. 4. 19	学術交流協定 Academic Exchange
ダッカ大学(バングラデシュ) University of Dhaka (BANGLADESH)	2004. 11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
シャジャラル科学技術大学(バングラデシュ) Shahjalal University of Science and Technology (BANGLADESH)	2004. 11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
ボンゴボンデュー セイク ムジブ医科大学(バングラデシュ) Bangabandhu Sheikh Mujib Medical University (BANGLADESH)	2004. 11. 12	学術交流協定 Academic Exchange
广西医科大学(中国) Guangxi Medical University (CHINA)	2004. 11. 21	学術交流協定 Academic Exchange
ワルシャワ医科大学(ポーランド) Medical University of Warsaw (POLAND)	2010. 4. 1	学術交流協定 Academic Exchange
ルブリン医科大学(ポーランド) Medical University of Lublin (POLAND)	2010. 4. 5	学術交流協定 Academic Exchange
デュッセルドルフ大学(ドイツ) Heinrich Heine University Düsseldorf (GERMANY)	2012. 8. 9	学術交流協定 Academic Exchange
ハワイ大学医学部(アメリカ) University of Hawaii, John A. Burns School of Medicine (U.S.A.)	2012. 9. 6	学術交流協定 Academic Exchange
ヒッタイト大学(トルコ) Hitit University (TURKEY)	2013. 12. 17	学術交流協定 Academic Exchange
フィレンツェ大学生物学部(イタリア) University of Florence, Department of Biology (ITALY)	2017. 11. 24	学術交流協定 Academic Exchange
ルワンダ大学医学・保健学部(ルワンダ) University of Rwanda, College of Medicine and Health Sciences (RWANDA)	2018. 3. 6	学術交流協定 Academic Exchange
タマサート大学チュラポーン国際医学部(タイ) Chulabhorn International College of Medicine, Thammasat University (THAILAND)	2018. 4. 24	学術交流協定 Academic Exchange
ネブラスカ大学医療センター(アメリカ) University of Nebraska Medical Center (U.S.A.)	2020. 6. 22	学術交流協定 Academic Exchange

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

検査項目 Test Item	件数 Number
一般検査 Urinalysis and Other Body Fluids	130,421
血液学的検査 Hematology	423,623
生化学的検査 Clinical Chemistry	2,976,481
病理学的検査 Pathology	18,403
生理機能検査 Physiology	215,584
採血・採液等 Collection of Blood and Other Body Fluids	97,473
内分泌学的検査 Endocrinology	87,054
免疫学的検査 Immunology	396,888
微生物学的検査 Microbiology	37,137
内視鏡検査 Endoscopy	9,933
その他 Others	66,011
合計 Total	4,459,008

令和2年度 FY 2020

薬剤件数 Number of Prescriptions	件数 Number
院内外来処方箋 Outpatient Prescription (Hospital pharmacy)	3,375
調剤薬 Prescription	
院外処方箋 Outpatient Prescription (Community pharmacy)	127,151
入院処方箋 Inpatient Prescription	115,883
注射薬 Injection Prescription	
外来注射箋 for Outpatient	33,784
入院注射箋 for Inpatient	161,576

令和2年度 FY 2020

手術件数及び麻酔件数 Number of Surgical Operations & Anaesthesias	合計 Total
手術件数 Number of Operations	7,333 (うち内視鏡手術 893 Include 893 Endoscopic Surgery)
全身麻酔 General Anaesthesia	4,741
局所麻酔 Local Anaesthesia	2,292
脊髄・硬膜外麻酔 Spinal Epidural Anaesthesia	294
その他 Others	6
合計 Total	7,333

令和2年度 FY 2020

区分 Classification	患者数 Number of Patients		合計 Total
	入院 Inpatients	外来 Outpatients	
X線直接撮影 X-Ray Radiography	47,066	39,992	87,058
X線透視 X-Ray Fluoroscopy	1,348	4,168	5,516
CT	9,776	17,594	27,370
MRI	2,951	7,886	10,837
合計 Total	61,141	69,640	130,781

令和2年度 FY 2020

区分 Classification	病理解剖件数 Number of Pathological Autopsy		
	男 Male	女 Female	合計 Total
死亡患者数 Deceased Patients	173	98	271
病理解剖件数 Number Subjected to Autopsy	11	4	15
剖検率(%) Autopsy Rate (%)	6.4	4.1	5.5
受託解剖件数 Autopsies Entrusted from Outside	3	2	5

令和2年度 FY 2020

区分 Classification	正常出生体重児(人) Normal Birth-weight Infant	低出生体重児(人) Low Birth-weight Infant						合計(人) Total
		500g未満 Less than 500 g						
		500g~1,000g未満	1,000g~1,500g未満	1,500g~2,000g未満	2,000g~2,500g未満	2,500g~4,000g未満	4,000g以上 over 4000 g	
経膣分娩 Vaginal Delivery	356	1	0	1	5	35	3	401
吸引分娩 Vacuum Extraction	52	0	0	0	0	4	0	56
鉗子分娩 Forceps Delivery	2	0	0	0	0	0	0	2
予定帝王切開 Scheduled Caesarean Delivery	103	0	1	5	5	31	1	146
緊急帝王切開 Emergency Caesarean Delivery	48	0	6	7	8	19	0	88
計(総分娩件数) Total	561	1	7	13	18	89	4	693
死産(内数) Stillbirth (included in total number)								

令和2年度 FY 2020

疾病 Diseases	救急患者数(来院原因別) Number of Emergency Cases by Causes				合計 Total
	傷病 Injuries			妊娠 Pregnancy	
	事故 Accidents		小計 Total		
	交通 Traffic Accidents	中毒 Poisoning		その他 Others	
5,387	255	53	1,051	1,359	453

令和2年度 FY 2020

外国人留学生 International Students

国名 Country	大学院 Graduate Students		合計 Total
	国費 Government	私費 Private	
中国 China		16	16
バングラデシュ Bangladesh	3	5	8
ベトナム Vietnam		5	5
インド India		1	1
ルワンダ Rwanda		2	2
合計 Total	3	29	32

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021



外国人留学生と研究者を対象に、日本国内の研修旅行を実施しています。例年、体験型学習を通じて、日本の文化、歴史、風土、産業等の見聞を広め、日本をより深く理解してもらうとともに、外国人留学生等と教職員相互の理解や親睦を深めています。We organize an excursion in Japan for international students and researchers every year. By actually experiencing Japanese culture, history, climate, industry, etc., the tour aims for the international students to broadening their view and gaining a deeper understanding of Japan. Also, it aims to communicate and build friendship with researchers and staff.



国際化推進の一環として外国人留学生、日本人学生、教職員の親睦を深め、英語コミュニケーション能力を向上させるために「English Café」を開催しています。「English Café」is held with the aim to deepen friendship between international students, Japanese students and staff. It also helps improving their linguistic and communication skills.

国際交流会館の概要 International Residence

区分 Classification	棟名 Building	
	単身棟 Single Type	世帯棟 Family Type
建築面積 Architectural Area	206㎡	147㎡
建物延面積 Total Building Area	554㎡	567㎡
室数 Number of Rooms (Area)	単身室 Single (14㎡) 20	夫婦室 Couple (40㎡) 6
	ミーティングルーム Meeting Room (19㎡) 1	家族室 Family (59㎡) 4

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021



国際交流会館 International Residence

地域・社会貢献

浜松医科大学では、教育、研究に次いで、社会貢献を第三の重要な事業活動と位置づけ、これに対する取組を進めています。医科大学としての社会貢献の第一は、附属病院における医療活動です。外来診療、入院治療、救急処置、検査等、多数の活動をしています。地域社会に対する様々な支援事業が第二の活動で、相談会や市民・中高生に対する各種講座を開催するなどしています。第三の活動として、大学の中で考案された新しい技術を実際に使えるものとして企業に移転したり、専門能力を生かして企業の事業化を支援したり、共同研究をしたりする産学官連携事業があります。

社会貢献事業への支援

本学における社会貢献活動を推進するため、教員等による活動実績に対して支援を行っています。令和2年度は以下の活動を支援しました。

地域教育に対する活動

活動名	対象	担当
トップガン教育システム協議会への参画	小学生等	教育担当理事
2020年度 トレーナーによるスポーツ医学講習会	市内の中学生、高校生とその指導者	健康社会医学講座
小児・AYA世代がんピアサポートサミット@zoom (小児・AYA世代がん経験者とその家族に対する テレビ会議システムを用いたピアサポート体制の構築)	小児・AYA世代がん経験者とその家族	小児科
視覚障害理解の学習	小学生	眼科
オンライン・しるわかフェ	御前崎市白羽・御前崎地域在住の一般市民	地域家庭医療学講座
産学連携・知的財産セミナーおよび相談会	学生、学内外研究者や医療従事者、地域企業等	産学連携・知財活用推進センター
みんなで学ぼう! 感染対策2020～きちんとできているかな～	小学校とその教員	感染対策室
新しい家族(赤ちゃん)を迎える準備教育	当院で出産を予定している妊婦	看護部

令和2年度

地域医療や公衆衛生に貢献する社会活動

活動名	対象	担当
COVID-19の血栓症発症リスクの共有と予防法の啓発活動	一般市民及び医療関係者	医生理学講座
オンラインによる地域・産業保健活動・調査支援講座の開催と コンサルテーション	自治体、事業所の医師、保健師、管理栄養士、 理学療法士等	健康社会医学講座
摂食障害家族教室	摂食障害患者の家族	精神医学講座
多胎ファミリー教室(しずおか多胎ネット活動支援)	多胎妊娠中の母親と家族、0歳～3歳までの 多胎児を育てている家族	臨床看護学講座 成人看護学
WEBセミナー方式を用いたベストプラクティスをめざした 高齢者ケア研修プログラム開発と多職種ネットワークの構築 :地域を超えた高齢者ケアに関わる多職種連携	看護師、理学療法士・作業療法士、介護福祉士など 関連専門職	臨床看護学講座 老年看護学
IBD(クローン病、潰瘍性大腸炎)啓発活動	IBD(クローン病、潰瘍性大腸炎)患者	医療福祉支援センター
外来化学療法の質向上のための地域薬局との連携体制の整備	近隣薬局薬剤師	薬剤部
浜松医科大学附属病院専門・認定看護師による公開講座	静岡県西部地域の看護職員	看護部

令和2年度

公開講座

令和2年度公開講座「浜松医科大学の先進的医療」を令和2年11月1日に開催し、119名の一般市民が受講しました。

本公開講座は昭和54年から毎年開催しており、令和2年度で第42回目となりました。今後も地域の皆様のご期待に添えるような公開講座を開講し、大学の重要な使命の1つとして求められている地域社会への貢献に努めていきたいと考えています。



産学官連携活動

日々の教育・研究・診療の中から生まれる多くの研究シーズ、知的財産、ノウハウ、暗黙知等を「知」という大切な財産であると考えます。この「知」を他大学や民間機関等と連携して社会に還元していく産学官連携活動を積極的に進めています。令和元年度以前から継続している活動(約40件)に加え、令和2年度は以下の活動が新たにスタートしました。

活動名	連携相手先	担当
心理状態に関する研究	企業(県内)	理事・副学長
防振材の開発	企業(浜松市)	医生理学講座
スクリーニングアッセイ系の構築	企業(県外)	腫瘍病理学講座
食品の安全性評価	企業(県外)	薬理学講座
金属含有製品の抗ウイルス性能評価	企業(浜松市)	ウイルス・寄生虫学講座
ウイルス不活化効果	企業(浜松市)	ウイルス・寄生虫学講座
気体発生装置の抗ウイルス性能評価	企業(浜松市)	ウイルス・寄生虫学講座
ウイルスに対する化合物の薬効評価	企業(県外)	ウイルス・寄生虫学講座
植物抽出物等の抗ウイルス効果の評価	企業(県外)	ウイルス・寄生虫学講座
ウイルスに対するアルコール製剤の失活効果の検証	企業(県外)	ウイルス・寄生虫学講座
在宅患者の服薬継続に関する調査研究	企業(県外)	健康社会医学講座
測定試薬の性能試験	企業(県外)	内科学第一講座
固定具の開発	企業(浜松市)	内科学第三講座
内視鏡防汚膜の評価・活用・改良	企業(浜松市)	外科学第一講座
スマート治療室との連携	企業(県外)、他機関	外科学第二講座
整形外科分野における新規術式の開発	企業(浜松市)	整形外科学講座
癌に対する新規治療薬の開発	企業(県外)	皮膚科学講座
生体情報取得の有用性に関する研究	企業(県外)	放射線腫瘍学講座
指装着型オキシメーターの開発	企業(県外)、他機関	産婦人科学講座
鉗子等装着型・皮膚貼付型オキシメーターの開発	企業(県外)、他機関	外科学第二講座、他
耐性菌の迅速検出法の検証	企業(県外)	臨床検査医学講座
遺伝子検査用採血管の開発	企業(県外)	臨床検査医学講座
機能性食品の開発	企業(浜松市)	基礎看護学講座
脳神経系疾患の新規治療法	企業(浜松市)、他機関	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
癌診断に向けた近赤外トモグラフィの開発	企業(浜松市)	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
次世代シーケンサーデータ解析用フィルターの開発	企業(県外)	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
生体吸収性材料の体内動態に関する研究	企業(県外)	光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部
人工調香品の活用に関する検討	企業(県外)、他機関	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
電子顕微鏡を用いたウイルスの高感度検出	企業(県外)	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
電子顕微鏡を用いた高精度抗原検査	企業(県外)	光先端医学教育研究センター ナノスーツ開発研究部
診断支援アプリの社会実装	企業(県外)	病理部
汎用品の医療応用	企業(県外)	救急部
消化器内視鏡の汎用処置具の開発	企業(県外)	光学医療診療部

令和2年度

外部資金受入れ状況 External Funding

科学研究費助成事業 Grants-in-Aid for Scientific Research		
研究種目 Subject for Research	件数 Number	交付額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)
新学術領域研究 Scientific Research on Innovative Areas	1	26,390 (6,090)
基盤研究(A) Scientific Research	1	15,470 (3,570)
基盤研究(B) Scientific Research	18	94,770 (21,870)
基盤研究(C) Scientific Research	127	181,740 (41,940)
挑戦的研究(開拓) Challenging Research (Pioneering)	0	0 (0)
挑戦的研究(萌芽) Challenging Research (Exploratory)	8	17,160 (3,960)
若手研究(B) Young Scientists	2	2,275 (525)
若手研究 Young Scientists	70	105,950 (24,450)
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	3	4,030 (930)
研究成果公開促進費 Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Results	1	5,000 (0)
特別研究員奨励費 JSPS Research Fellows	1	910 (210)
奨励研究 Encouragement of Scientists	13	6,200 (0)
合計 Total	245	459,895 (103,545)

()は間接経費を内数で示す
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない
The number in () indicates overhead expenses. 令和2年度 FY 2020

厚生労働科学研究費補助金 Health and Labour Sciences Research Grants		
件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
5	50,940 (11,754)	

()は間接経費を内数で示す
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない
The number in () indicates overhead expenses. 令和2年度 FY 2020

奨学寄附金 Scholarship Endowment			
区分 Classification	件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
一般 From individual	423	640,501	
助成金 Grant-in-aid	31	84,686	
合計 Total	454	725,187	

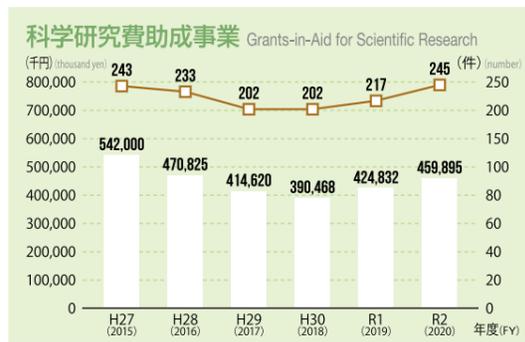
令和2年度 FY 2020

受託研究 Trust Research			
区分 Classification	件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
一般 General Research	154	531,511	
治験 Clinical Trial	364	248,309	
病理組織検査 Clinical Histology	5,988	40,611	
合計 Total	6,506	820,431	

令和2年度 FY 2020

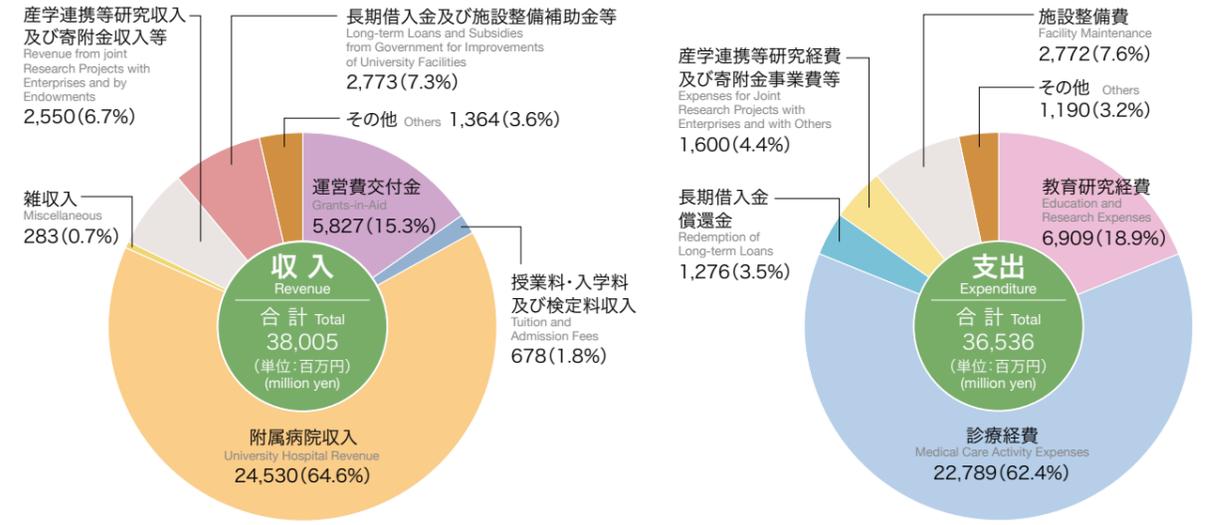
民間等との共同研究 Joint Research		
件数 Number	金額(単位:千円) Amount of Money (thousand yen)	
83	66,264	

共同研究員費を含む
Joint Research funds included. 令和2年度 FY 2020



財務、土地及び建物 Accounts, Land & Buildings

令和2年度決算額 Accounts FY 2020



土地及び建物 Land & Buildings

区分 Classification	土地 (㎡) Land Area	建物 (㎡) Building Area		備考 Note
		建面積 Base Floor Area	延面積 Total Floor Area	
本部 Main office	265,206	10,482	22,972	管理棟、半田山会館、福利施設棟、体育館、課外活動施設棟、エネルギーセンター、武道館、附属図書館、国際交流会館、弓道場、保育所、立体駐車場(職員用)、その他 Headquarters Bldg., Handayama Hall, Welfare Facilities, Gymnasium, Students Club Activities Facilities, Energy Center, Martial Art Center, Univ. Library, International Residence, Kyudo Ground, Nursery Center, Multilevel Car Parking for Staff and others
医学部 School of Medicine		9,376	42,738	講義実習棟、基礎臨床研究棟、医工連携拠点棟、臨床講義棟、RI 動物実験施設、看護学科棟、フロンティア研究棟、総合人間科学・基礎研究棟、サイクロトロン棟、その他 Educational Bldg., Basic and Clinical Research Bldg., Innovative Medical Collaboration Bldg., Clinical Lecture Bldg., RI Experimental Animals Inst., Nursing Faculty Bldg., Photon Research Bldg., Integrated Human Sciences & Basic Research Bldg., Cyclotron Facilities and others
附属病院 University Hospital		17,554	80,768	附属病院、MRI-CT装置棟、中央診療棟、PET-CT棟、立体駐車場(患者用)、杏林スマイルテラス、その他 Univ. Hospital, MRI-CT Facilities, Central Clinical Facilities, PET-CT Facilities, Multilevel Car Parking for Patients, Kyorin Smile Terrace and others
看護師宿舎 Nurse Residence		1,419	5,526	医大岡山宿舎 2棟 129戸 Funakayama Univ. Residence [構造RC-規格a 94戸] [構造RC-規格b 35戸]
職員宿舎(二) Staff Residences 2		897	3,313	医大半田山宿舎 3棟 60戸 Handayama Univ. Residence [構造RC-規格c 10戸] [構造RC-規格b 50戸]
職員宿舎(一) Staff Residences 1		35,408	3,411	10,270 医大宿舎 7棟 128戸 Univ. Residence [構造RC-規格c 128戸] 学長宿舎 1棟 1戸 (構造W-規格e) アプリコットヴィレッジⅢ 1棟 24戸 Apricot Village III [構造RC 24戸]
三ヶ日艇庫 Mikkabi Boat House		502	114	114
合計 Total		301,116	43,253	165,701

令和3年5月1日現在 Data on May 1, 2021

歴代学長・沿革 Former Presidents & History

歴代学長 Former Presidents	初代 吉利 和 First YOSHITOSHI Yawara	昭和49年 6月 7日 ~ 昭和61年 3月31日 Jun. 7, 1974 ~ Mar. 31, 1986	第4代 山崎 昇 4th YAMAZAKI Noboru	平成 8年 5月 1日 ~ 平成12年 4月30日 May 1, 1996 ~ Apr. 30, 2000
	第2代 中井 準之助 2nd NAKAI Jyunnosuke	昭和61年 4月 1日 ~ 平成 2年 3月31日 Apr. 1, 1986 ~ Mar. 31, 1990	第5代 寺尾 俊彦 5th TERAU Toshihiko	平成12年 5月 1日 ~ 平成22年 3月31日 May 1, 2000 ~ Mar. 31, 2010
	第3代 川島 吉良 3rd KAWASHIMA Yoshiro	平成 2年 5月 1日 ~ 平成 8年 4月30日 May 1, 1990 ~ Apr. 30, 1996	第6代 中村 達 6th NAKAMURA Satoshi	平成22年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 Apr. 1, 2010 ~ Mar. 31, 2016

昭和48年(1973)	9月 10日 Sep.	静岡大学国立医科大学創設準備室設置	A preparatory committee was created at Shizuoka University for the founding of a national medical college.
昭和49年(1974)	6月 7日 Jun.	浜松医科大学設置 医学部医学科、附属図書館及び事務局設置	Hamamatsu University School of Medicine was founded. Faculty of Medicine, University Library and Administration Bureau were established.
		医学部に8講座 (解剖学第一、生理学第一、生化学第一、病理学第一、微生物学、内科学第一、外科学第一、放射線医学) 9学科目 (倫理学、心理学、法学、数学、物理学、化学、生物学、英語、ドイツ語)開設	Departments of Anatomy I, Physiology I, Biochemistry I, Pathology I, Microbiology, Internal Medicine I, Surgery I and Radiology were established in the Faculty of Medicine. Ethics, Psychology, Legal, Mathematics, Physics, Chemistry, Biology, English and German were established in the Liberal Arts.
	7月 4日 Jul.	医学部医学科第1回入学式	The first entrance ceremony for the Faculty of Medicine was held.
昭和50年(1975)	3月 29日 Mar.	講義実習棟竣工	The Educational Building was completed.
		4月 1日 Apr.	附属病院創設準備室設置 医学部に7講座 (解剖学第二、生理学第二、病理学第二、薬理学、内科学第二、産婦人科学、小児科学)開設
昭和51年(1976)	3月 25日 Mar.	福利施設棟竣工	The Welfare Facilities were completed.
	3月 27日 Mar.	体育館竣工	Gymnasium was completed.
	5月 10日 May	医学部に7講座 (衛生学、公衆衛生学、寄生虫学、法医学、外科学第二、整形外科、眼科学)開設	Departments of Hygiene, Public Health, Parasitology, Legal Medicine, Surgery II, Orthopedic Surgery and Ophthalmology were established in the Faculty of Medicine.
	12月 11日 Dec.	第1回解剖体慰霊祭	The first memorial service was held for deceased donor.
昭和52年(1977)	3月 25日 Mar.	基礎臨床研究棟竣工	The Basic and Clinical Research Building was completed.
	3月 30日 Mar.	RI動物実験施設、管理棟及び臨床講義棟竣工	RI Experimental Animals Institute, the Headquarters Building and the Educational Building were completed.
	4月 18日 Apr.	医学部附属病院設置 医学部に6講座 (内科学第三、精神神経医学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学)開設	The University Hospital was established. Departments of Internal Medicine III, Psychiatry, Dermatology, Urology, Otorhinolaryngology, and Anesthesiology were established in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院に15診療科 (第一内科、第二内科、精神科神経科、小児科、第一外科、第二外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科)設置	Clinical Care Departments of Internal Medicine I and II, Psychiatry, Pediatrics, Surgery I and II, Orthopedics, Dermatology, Urology, Ophthalmology, Otolaryngology, Obstetrics & Gynecology, Radiology, Anesthesiology, Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery were established in the University Hospital.
		医学部附属病院中央診療施設等 (検査部、放射線部、手術部、材料部)設置 薬剤部・看護部設置	Clinical Laboratories, Radiological Center, Surgical Operation and Central Supply were established in Central Clinical Facilities. Hospital Pharmacy and Nursing were established.
	11月 28日 Nov.	医学部附属病院の一部が竣工し、外来診療を開始	Partial Hospital Building was constructed and the Outpatient Services started.
	12月 20日 Dec.	医学部附属病院竣工	The building of the University Hospital was completed.
昭和53年(1978)	3月 30日 Mar.	廃棄物廃水処理施設竣工	The Waste Disposal Center was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部に2講座 (生化学第二、脳神経外科学)開設	Departments of Biochemistry II and Neurosurgery were established in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院に2診療科 (第三内科、脳神経外科)設置	Clinical Care Departments of Medicine III, Neurosurgery were established in the University Hospital.
		廃棄物廃水処理センター設置	The Water Disposal Center was established.
	5月 25日 May	慰霊塔除幕式	The dedication of deceased donors memorial was held.
	11月 15日 Nov.	附属図書館竣工	The University Library building was completed.
昭和54年(1979)	3月 30日 Mar.	プール及び福利厚生施設、職員会館(半田山会館)竣工	Swimming pool and Handayama Hall were completed.
	4月 1日 Apr.	医学部附属動物実験施設設置	Experimental Animals Institute was established.
	12月 8日 Dec.	武道館竣工	The Martial Art Hall was completed.
昭和55年(1980)	3月 26日 Mar.	医学部医学科第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for the Faculty of Medicine, School of Medicine was held.
	4月 1日 Apr.	大学院医学研究科博士課程(形態系専攻、生理系専攻、生化学専攻、生態系専攻)設置	Graduate School of Medical Sciences, Doctoral Degree Program was established.
	4月 26日 Apr.	大学院医学研究科博士課程第1回入学式	The first entrance ceremony for Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program was held.
昭和56年(1981)	4月 1日 Apr.	医学部附属実験実習機器センター設置	The Research Equipment Center was established.

昭和59年(1984)	2月 18日 Feb.	開学10周年記念式典	10th anniversary commemoration of the University was held.
	3月 26日 Mar.	大学院医学研究科博士課程 第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for Graduate School of Medicine Doctoral Degree Program was held.
	4月 1日 Apr.	医学部に講座(歯科口腔外科学)開設	Dentistry & Oral & Maxillofacial Surgery Department was established in the Faculty of Medicine.
昭和60年(1985)	5月 17日 May	保健管理センター設置	The Health Administration Center was established.
昭和62年(1987)	12月 5日 Dec.	医学部附属病院開院10周年記念式典	10th anniversary commemoration of the University Hospital was held.
昭和63年(1988)	5月 25日 May	医学部附属病院中央診療施設等(病理部)設置	Diagnostic Pathology was established in Central Clinical Facilities.
	10月 20日 Oct.	基礎臨床研究棟別館竣工	Basic and Clinical Research Building Annex was completed.
平成元年(1989)	6月 28日 Jun.	医学部に講座(臨床検査医学)開設	Department of Laboratory Medicine was established in the Faculty of Medicine.
	10月 1日 Oct.	医学部にメディカルホトニクス講座 (寄附講座)開設	Department of Medical Photonics was established by donation in the School of Medicine.
平成2年(1990)	3月 20日 Mar.	MRI-CT装置棟竣工	The MRI-CT Center was completed.
	6月 8日 Jun.	医学部に学科目(日本語・日本事情)開設	Japanese & Japanese Affairs was established in the Liberal Arts.
		麻酔学講座を麻酔・蘇生学講座に名称変更	Department of Anesthesiology was renamed to the Department of Anesthesiology & Critical Care Medicine in the Faculty of Medicine.
	医学部附属病院麻酔科を麻酔科蘇生科に名称変更	Clinical Care Department of Anesthesiology was renamed to the Clinical Care Department of Anesthesiology & Critical Care Medicine.	
平成3年(1991)	4月 12日 Apr.	光子医学研究センター設置 医学部附属病院中央診療施設等(救急部)設置	Photon Medical Research Center was established. Emergency Unit was established in the Central Clinical Facilities.
平成5年(1993)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(集中治療部)設置	Intensive Care Unit was established in the Central Clinical Facilities.
	6月 17日 Jun.	廃棄物廃水処理センターを 医療廃棄物処理センターに名称変更	Water Disposal Center was renamed to the Center for Medical Waste Management.
	10月 1日 Oct.	医学部に臨床薬理学講座(寄附講座)開設	Department of Clinical Pharmacology & Therapeutics was established by donation in the School of Medicine.
平成6年(1994)	5月 20日 May	医学部附属病院中央診療施設等(輸血部)設置	Blood Transfusion Unit was established in the Central Clinical Facilities.
	6月 7日 Jun.	開学20周年記念式典	20th anniversary commemoration of the University was held.
平成7年(1995)	4月 1日 Apr.	医学部看護学科設置	The Faculty of Nursing was established.
		医学部に学科目(生命科学)開設	Life Science was established in the Liberal Arts.
	4月 25日 Apr.	医学部看護学科第1回入学式	The first entrance ceremony for the Faculty of Nursing was held.
	6月 7日 Jun.	医学部看護学科設置記念式典	The foundation ceremony of the Faculty of Nursing was held.
	9月 27日 Sep.	情報処理センター設置	Information Processing Center was established.
平成8年(1996)	3月 25日 Mar.	国際交流会館竣工	International Residence was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部看護学科に3講座 (基礎看護学、臨床看護学、地域看護学)開設	Department of Basic Nursing, Clinical Nursing and Community Nursing were established in the Faculty of Nursing.
		医学部に学科目(情報科学)開設	Informatics was established in the Liberal Arts.
	医学部附属病院中央診療施設等(医療情報部)設置	Medical Informatics was established in the Central Clinical Facilities.	
平成9年(1997)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(光学医療診療部)設置	Endoscopic & Photodynamic Medicine was established in the Central Clinical Facilities.
	7月 28日 Jul.	看護学科棟の一部が竣工	Partial construction of the Nursing Faculty Building.
	11月 27日 Nov.	医学部附属病院開院20周年記念式典	20th anniversary commemoration of the University Hospital was held.
平成10年(1998)	2月 16日 Feb.	看護学科棟竣工	Nursing Faculty Building was completed.
	3月 30日 Mar.	弓道場竣工	Kyudo Ground was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部医学科に講座(臨床薬理学)開設	Department of Clinical Pharmacology & Therapeutics was established in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設等(血液浄化療法部)設置	Blood Purification Unit was established in the Central Clinical Facilities.
	医学部附属病院に2診療科(循環器科、心臓血管外科)設置	Clinical Care Departments of Cardiology, Cardiovascular Surgery were established in the University Hospital.	
平成11年(1999)	3月 26日 Mar.	医学部看護学科第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for the Faculty of Nursing, School of Medicine was held.
	4月 1日 Apr.	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に名称変更し、修士課程(看護学専攻)設置	Graduate School of Medical Sciences was renamed to Graduate School of Medicine & Nursing, Master's Degree Program was established.
		医学部附属病院中央診療施設等(リハビリテーション部)設置	Rehabilitation Center was established in the Central Clinical Facilities.
	4月 26日 Apr.	大学院医学系研究科修士課程第1回入学式	The first entrance ceremony for the Graduate School of Nursing Master's Degree Program was held.
	12月 24日 Dec.	光子医学研究センター竣工	The Photon Medical Research Center Building was completed.
平成12年(2000)	4月 1日 Apr.	事務局教務部に入学主幹、総務部に情報企画室を設置	Admissions Office and Computing & Network Planning Office were established in the Administration Bureau.
平成13年(2001)	3月 27日 Mar.	大学院医学系研究科修士課程第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for Graduate Master's Degree Program School of Medicine was held.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(治験管理センター)設置	Drug Investigation Center was established in the Central Clinical Facilities.
		光子医学研究センター改組	The Photon Medical Research Center Building was reorganized.
	12月 18日 Dec.	探索的臨床研究施設竣工	The Translational Research Center was completed.
平成14年(2002)	4月 1日 Apr.	医学部医学科に講座(救急医学)開設	Department of Emergency Medicine was established in the Faculty of Medicine.

平成14年(2002)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(周産母子センター)設置	Perinatal Center was established in the Central Clinical Facilities.
	9月 1日 Sep.	医学部附属病院中央診療施設等(遺伝子診療部)設置	Clinical & Molecular Genetics Center was established in the Central Clinical Facilities.
	10月 1日 Oct.	医学部医学科第2年次後期編入学 第1回入学式	The first entrance ceremony for the enrollees in the second-year program in the Faculty of Medicine was held.
	11月 1日 Nov.	医学部附属病院に診療科(リハビリテーション科)設置	Clinical Care Departments of Rehabilitation was established in the University Hospital.
平成15年(2003)	3月 1日 Mar.	医学部附属病院新生児特定集中治療室(NICU)開設	NICU was established in the University Hospital.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設等(医療福祉支援センター)設置	Medical Welfare Support Center was established in the Central Clinical Facilities.
	9月 3日 Sep.	21世紀COEプログラムに「メディカルフォトリクス」が採択	Our research program entitled "Medical Photonics" was selected as one of the 21st century COE programs by JSPS.
平成16年(2004)	4月 1日 Apr.	国立大学法人浜松医科大学設置	The National University Corporation Hamamatsu University School of Medicine started.
		大学院医学系研究科博士課程の専攻を、光先端医学、高次機能医学、病態医学及び予防・防御医学に変更	The majors of Doctoral Degree program were rearranged to 4 majors; Advanced Photo Medicine, Integrated Functional Medicine, Frontier Medicine and Infectious Disease Control & Preventive Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設の医療福祉支援センター及び治験管理センターを医学部附属病院の医療福祉支援センター及び臨床研究管理センターに改組	Medical Welfare Support Center and Drug Investigation Center in the Central Clinical Facilities were reorganized to the Medical Welfare Support Center and Center for Clinical Research in the University Hospital.
		医学部附属病院に臨床研修センター及び医療安全管理室を設置	Post Graduate Clinical Training Center and Medical Safety Administration Office were established in the University Hospital.
		事務局総務部庶務課を総務課と人事課に改組、業務部の医事課を医療サービス課に改め病院管理室を設置、教務部を学務部に改め入学主幹を廃し入試課を設置	Administration Bureau was reorganized and General Affairs Division, Personnel Division, Student Affairs Division and Admissions Division were established. (Admissions Office was expanded.)
	11月 13日 Nov.	開学30周年記念式典	30th anniversary commemoration of the University was held.
平成17年(2005)	4月 1日 Apr.	医学部一般教育等の12学科目(倫理学、心理学、歴史学、社会学、数学、物理学、化学、生物学、英語、日本語・日本事情、生命科学、情報科学)を総合人間科学講座に改組	12 Divisions of the Liberal Arts were reorganized into the Department of Integrated Human Sciences.
		医学部医学科の解剖学第一講座及び解剖学第二講座を解剖学講座に改組	Departments of Anatomy I and II were integrated into a single Department of Anatomy.
		医学部医学科の衛生学講座及び公衆衛生学講座を健康社会医学講座に改組	Departments of Hygiene and Public Health were integrated into a single Department of Community Health & Preventive Medicine.
		医学部附属病院中央診療施設等(栄養部)設置	The Clinical Nutrition Unit was established in the Central Clinical Facilities.
		事務局の業務部を病院部に改め、施設課を総務部に編入	Facilities & Medical Affairs Division was reorganized to the Medical Affairs Division and Facilities Division.
	5月 25日 May	医学部附属病院中央診療施設等(化学療法部)設置	Chemotherapy Center was established in the Central Clinical Facilities.
		医学部附属病院に外来化学療法センター設置	Chemotherapy Center was established in the University Hospital.
	7月 1日 Jul.	医学部附属病院新生児強化治療室(GCU)開設	GCU was established in the University Hospital.
平成18年(2006)	4月 1日 Apr.	医学部医学科の微生物学講座及び寄生虫学講座を感染症学講座に改組	Departments of Microbiology and Parasitology were integrated into the Department of Infectious Diseases.
		子どものこころの発達研究センター設置	Research Center for Child Mental Development was established.
		医学部附属病院に診療科(心療内科)設置	Psychosomatic Medicine was established in the University Hospital.
		医学部附属病院中央診療施設等(外来診療部)設置	Outpatient Clinics was established in the Central Clinical Facilities.
	7月 1日 Jul.	監査室設置	Audit office was established.
平成19年(2007)	1月 1日 Jan.	分子イメージング先端研究センター設置	Molecular Imaging Frontier Research Center was established.
	1月 23日 Jan.	事務局病院部に病院再整備推進事務局設置	Hospital Reform Promotion Office was established in Administration Bureau
	2月 1日 Feb.	医学部附属病院に診療科(形成外科)設置	Clinical Care Departments of Plastic & Reconstructive Surgery was established in the University Hospital.
平成20年(2008)	1月 1日 Jan.	分子イメージング先端研究センターに分子解剖学研究部門開設	Department of Molecular Anatomy was established in the Molecular Imaging Frontier Research Center.
	4月 1日 Apr.	助産学専攻科設置	Graduate Course of Midwifery was established.
	4月 1日 Apr.	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科に参加	Osaka University, Kanazawa University and Hamamatsu University School of Medicine created the United Graduate School of Child Development.
		事務局部制を廃止し、研究協力課及び病院経営支援課設置	Research Cooperation Section and Hospital Management Support Section were established in the Administration Bureau.
	6月 29日 Jun.	医学部附属病院新病棟竣工	New Hospital Ward was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設(診療情報管理部)設置	Medical Records Center was established in the Central Clinical Facilities.
	5月 1日 May	医学部に児童青年期精神医学講座(寄附講座)開設	Department of Medical Education was established by donation in the School of Medicine.
	4月 1日 Apr.	光子医学研究センター及び分子イメージング先端研究センターを改組・統合し、メディカルフォトリクス研究センター設置	The Photon Medical Research Center and Molecular Imaging Frontier Research Center were integrated to The Medical Photonics Research Center.
		産学官共同研究センター(PET-CT棟、サイクロトロン棟)設置	The Collaboration Center for Medical Innovation (PET-CT and Cyclotron Facilities) was established.
	6月 9日 Jun.	医学部附属病院に診療科(病理診断科)設置	Clinical Care Departments of Diagnostic Pathology was established in the University Hospital.
平成21年(2009)	1月 1日 Jan.	医学部に地域周産期医療学講座(寄附講座)開設	Department of Regional Neonatal-Perinatal Medicine was established by donation in the School of Medicine.
	4月 1日 Apr.	医学部医学科の生理学第一講座を神経生理学講座、生理学第二講座を生理学講座、生化学第一講座を分子生物学講座、生化学第二講座を医学化学講座、病理学第一講座を腫瘍病理学講座、病理学第二講座を再生・感染病理学講座、精神神経医学講座を精神医学講座、耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座、及び救急医学講座を救急災害医学講座に名称変更	Departments' renaming took place in the Faculty of Medicine; Physiology I to Neurophysiology, Physiology II to Medical Physiology, Biochemistry I to Molecular Biology, Biochemistry II to Biochemistry, Pathology I to Tumor Pathology, Pathology II to Regenerative & Infectious Pathology and Emergency Medicine to Emergency & Disaster Medicine.
		大学院医学系研究科博士課程の専攻(光先端医学、高次機能医学、病態医学、予防・防御医学)を医学専攻に改組	4 majors of the Doctoral Degree program, Advanced Photo Medicine, Integrated Functional Medicine, Frontier Medicine and Infectious Disease Control & Preventive Medicine, were integrated into 1 major, Medicine.
		大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科を、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に変更	United Graduate School of Child Development was reorganized and renamed the United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui.
		医学教育推進センター設置	The Medical Education Center was established.
		医学部附属病院にシミュレーションセンター設置	Simulation Center was established in the University Hospital.
		事務局の病院再整備推進事務局を廃止	Hospital Reform Promotion Office was abolished.
	5月 28日 May	医学部医学科に講座(臨床腫瘍学)開設	Department of Clinical Oncology was established in the Faculty of Medicine.
	6月 1日 Jun.	医学部に産婦人科家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Obstetrics, Gynecology & Family Medicine was established by donation in the School of Medicine.
	8月 1日 Aug.	情報処理センターを情報基盤センターに改組 広報室設置	Information Processing Center was reorganized to Information Technology Center. Public Relations Office was established.
平成22年(2010)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院に診療科(小児外科)設置	Clinical Care Department of Pediatric Surgery was established in the University Hospital.
		医学部附属病院に肝疾患連携相談室及び感染対策室設置	Liver Health Support & Counselling Services and Infection Control & Prevention Center were established in the University Hospital.
	11月 1日 Nov.	医学部に地域家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Family & Community Medicine was established by donation in the School of Medicine.
平成23年(2011)	2月 1日 Feb.	医学部附属病院に女性医師支援センター設置	Woman Doctor Support Center was established in the University Hospital.
	4月 1日 Apr.	学長付企画推進室設置	Project Promoting Office was established.
	7月 10日 Jul.	学章及びシンボルマークを制定	University Emblem & Logo were established.
	11月 22日 Nov.	開学40周年記念式典	40th anniversary commemoration of the University was held.
平成24年(2012)	4月 1日 Apr.	放射線医学講座を放射線診断学・核医学講座及び放射線腫瘍学講座に改組	Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology & Nuclear Medicine and Radiation Oncology in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院診療科(放射線科)を(放射線診断科)及び(放射線治療科)に改組	Clinical Care Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology and Radiation Therapy in the University Hospital.
		助産学専攻科を廃止し、大学院医学系研究科修士課程に助産師養成コースを設置	Midwifery course, Master's Degree Program in Nursing was established. (Graduate course of Midwifery was superseded.)
		がん教育研究センターを廃止し、臨床腫瘍学講座に業務を移行	Cancer Education & Research Center was merged into the Department of Clinical Oncology in the Faculty of Medicine.
平成25年(2013)	1月 1日 Jan.	メディカルフォトリクス研究センター、動物実験施設、実験実習機器センター、産学官共同研究センターを改組し、光先端医学教育研究センター設置	Medical Photonics Research Center, Experimental Animals Institute, Research Equipment Center and Collaboration Center for Medical Innovation were integrated into the Preeminent Medical Photonics Education & Research Center.

平成20年(2008)	1月 1日 Jan.	分子イメージング先端研究センターに分子解剖学研究部門開設	Department of Molecular Anatomy was established in the Molecular Imaging Frontier Research Center.
	4月 1日 Apr.	助産学専攻科設置	Graduate Course of Midwifery was established.
	4月 1日 Apr.	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科に参加	Osaka University, Kanazawa University and Hamamatsu University School of Medicine created the United Graduate School of Child Development.
		事務局部制を廃止し、研究協力課及び病院経営支援課設置	Research Cooperation Section and Hospital Management Support Section were established in the Administration Bureau.
平成21年(2009)	6月 29日 Jun.	医学部附属病院新病棟竣工	New Hospital Ward was completed.
	4月 1日 Apr.	医学部附属病院中央診療施設(診療情報管理部)設置	Medical Records Center was established in the Central Clinical Facilities.
	5月 1日 May	医学部に児童青年期精神医学講座(寄附講座)開設	Department of Medical Education was established by donation in the School of Medicine.
平成22年(2010)	4月 1日 Apr.	光子医学研究センター及び分子イメージング先端研究センターを改組・統合し、メディカルフォトリクス研究センター設置	The Photon Medical Research Center and Molecular Imaging Frontier Research Center were integrated to The Medical Photonics Research Center.
		産学官共同研究センター(PET-CT棟、サイクロトロン棟)設置	The Collaboration Center for Medical Innovation (PET-CT and Cyclotron Facilities) was established.
	6月 9日 Jun.	医学部附属病院に診療科(病理診断科)設置	Clinical Care Departments of Diagnostic Pathology was established in the University Hospital.
	1月 1日 Jan.	医学部に地域周産期医療学講座(寄附講座)開設	Department of Regional Neonatal-Perinatal Medicine was established by donation in the School of Medicine.
平成23年(2011)	4月 1日 Apr.	医学部医学科の生理学第一講座を神経生理学講座、生理学第二講座を生理学講座、生化学第一講座を分子生物学講座、生化学第二講座を医学化学講座、病理学第一講座を腫瘍病理学講座、病理学第二講座を再生・感染病理学講座、精神神経医学講座を精神医学講座、耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座、及び救急医学講座を救急災害医学講座に名称変更	Departments' renaming took place in the Faculty of Medicine; Physiology I to Neurophysiology, Physiology II to Medical Physiology, Biochemistry I to Molecular Biology, Biochemistry II to Biochemistry, Pathology I to Tumor Pathology, Pathology II to Regenerative & Infectious Pathology and Emergency Medicine to Emergency & Disaster Medicine.
		大学院医学系研究科博士課程の専攻(光先端医学、高次機能医学、病態医学、予防・防御医学)を医学専攻に改組	4 majors of the Doctoral Degree program, Advanced Photo Medicine, Integrated Functional Medicine, Frontier Medicine and Infectious Disease Control & Preventive Medicine, were integrated into 1 major, Medicine.
		大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科を、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に変更	United Graduate School of Child Development was reorganized and renamed the United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui.
		医学教育推進センター設置	The Medical Education Center was established.
		医学部附属病院にシミュレーションセンター設置	Simulation Center was established in the University Hospital.
		事務局の病院再整備推進事務局を廃止	Hospital Reform Promotion Office was abolished.
	5月 28日 May	医学部医学科に講座(臨床腫瘍学)開設	Department of Clinical Oncology was established in the Faculty of Medicine.
	6月 1日 Jun.	医学部に産婦人科家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Obstetrics, Gynecology & Family Medicine was established by donation in the School of Medicine.
	8月 1日 Aug.	情報処理センターを情報基盤センターに改組 広報室設置	Information Processing Center was reorganized to Information Technology Center. Public Relations Office was established.
	平成24年(2012)	4月 1日 Apr.	医学部附属病院に診療科(小児外科)設置
		医学部附属病院に肝疾患連携相談室及び感染対策室設置	Liver Health Support & Counselling Services and Infection Control & Prevention Center were established in the University Hospital.
11月 1日 Nov.		医学部に地域家庭医療学講座(寄附講座)開設	Department of Family & Community Medicine was established by donation in the School of Medicine.
平成25年(2013)	2月 1日 Feb.	医学部附属病院に女性医師支援センター設置	Woman Doctor Support Center was established in the University Hospital.
	4月 1日 Apr.	学長付企画推進室設置	Project Promoting Office was established.
	7月 10日 Jul.	学章及びシンボルマークを制定	University Emblem & Logo were established.
	11月 22日 Nov.	開学40周年記念式典	40th anniversary commemoration of the University was held.
平成26年(2014)	4月 1日 Apr.	放射線医学講座を放射線診断学・核医学講座及び放射線腫瘍学講座に改組	Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology & Nuclear Medicine and Radiation Oncology in the Faculty of Medicine.
		医学部附属病院診療科(放射線科)を(放射線診断科)及び(放射線治療科)に改組	Clinical Care Department of Radiology was divided into Diagnostic Radiology and Radiation Therapy in the University Hospital.
		助産学専攻科を廃止し、大学院医学系研究科修士課程に助産師養成コースを設置	Midwifery course, Master's Degree Program in Nursing was established. (Graduate course of Midwifery was superseded.)
		がん教育研究センターを廃止し、臨床腫瘍学講座に業務を移行	Cancer Education & Research Center was merged into the Department of Clinical Oncology in the Faculty of Medicine.
平成27年(2015)	1月 1日 Jan.	メディカルフォトリクス研究センター、動物実験施設、実験実習機器センター、産学官共同研究センターを改組し、光先端医学教育研究センター設置	Medical Photonics Research Center, Experimental Animals Institute, Research Equipment Center and Collaboration Center for Medical Innovation were integrated into the Preeminent Medical Photonics Education & Research Center.

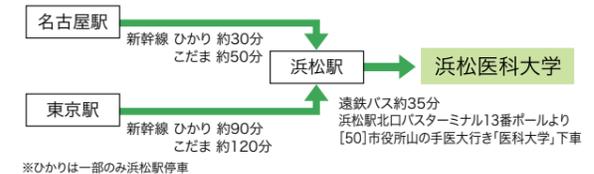
案内図 Location Map

Hamamatsu University School of Medicine is located approximately 10.6km north of Hamamatsu Station.



交通アクセス Directions

新幹線・バス

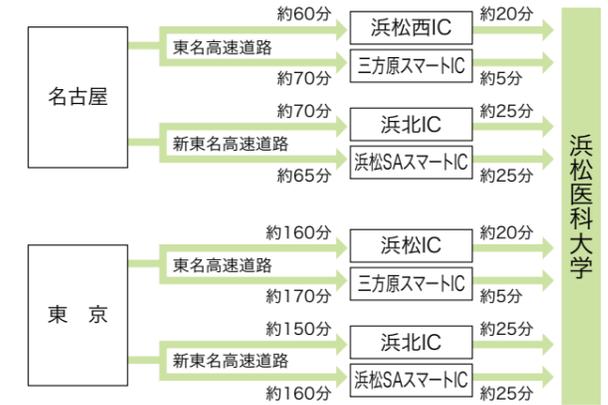


Transportation (Railway)		
Tokyo—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 30 mins
Nagoya—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	30 mins
Kyoto—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 10 mins
Shin Osaka—Hamamatsu	Shinkansen Hikari	1 hour 25 mins

Commuting Guide at the Station's Bus Terminal Located near the North Entry of Hamamatsu Station

Entetsu Bus	Bus Terminal	Route Number	Route Name	Time Required
	Stop 13	50	Shiyakusho Yamanote line bound for Hamamatsu University School of Medicine	35 mins

自動車



平成28年(2016)	4月 1日 Apr.	医学部医学科の解剖学講座を器官組織解剖学講座及び細胞分子解剖学講座に改組	Department of Anatomy was divided into Organ & Tissue Anatomy and Cellular & Molecular Anatomy in the Faculty of Medicine.
		医学部医学科の感染症学講座を細菌・免疫学講座及びウイルス・寄生虫学講座に改組	Department of Infectious Diseases was divided into Bacteriology & Immunology and Virology & Parasitology in the Faculty of Medicine.
		総合診療教育研究センター設置	General-Family Medicine Education & Research Center was established.
		国際マスメイキングセンター設置	International Mass Imaging Center was established.
		医学部に長寿運動器疾患教育研究講座(寄附講座)開設	Department of Geriatric Musculoskeletal Health was established by donation in the School of Medicine.
		事務局総務課に広報室及び情報企画室を編入	In the Administration Bureau. The Public Relations Office and Computing & Network Planning Office were set in the General Affairs Division.
		事務局に企画評価課設置	Planning & Evaluation Division was established.
		事務局医事課に卒後支援室設置	Postgraduate Clinical Training Support Office was established in the Medical Affairs Division, Administration Bureau.
		学長付企画推進室廃止	Project Promoting Office was abolished.
		7月 1日 Jul.	医学部附属病院に診療科(救急科)設置
医学部附属病院臨床研修センターを卒後教育センターに改組	Clinical Education Center was reorganized Postgraduate Clinical Education Center in the University Hospital.		
7月 11日 Jul.	浜松医科大学基金設立	The Hamamatsu University School of Medicine Fund was established.	
	11月 29日 Nov.	マスコットキャラクター決定	The University Mascot was determined.
平成29年(2017)	2月 1日 Feb.	IR室設置	Institutional Research Office was established.
	4月 1日 Apr.	光先端医学教育研究センターにナノスーツ開発研究部設置	Institute for NanoSuit Research was established in the Preeminent Medical Photonics Education & Research Center.
11月 14日 Nov.	医学部に生殖産科医学講座(寄附講座)開設	Department of Reproductive perinatology was established by donation in the School of Medicine.	
	40th anniversary commemoration of the University Hospital was held.		
平成30年(2018)	1月 26日 Jan.	総合人間科学・基礎研究棟竣工	Integrated Human Sciences & Basic Research Building was completed.
	4月 1日 Apr.	大学院医学系研究科博士後期課程(光医学共同専攻)設置	Cooperative Major in Medical Photonics, Doctoral Course in Graduate School of Medicine & Nursing was established.
3月 8日 Mar.	医工連携拠点棟竣工	Innovative Medical Collaboration Building was completed.	
	4月 1日 Apr.	知財活用推進本部及び光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部を改組統合し、産学連携・知財活用推進センター設置	Intellectual Property Management Division and Institute for Innovative Medical collaboration, Preeminent Medical Photonics Education & Research Center were integrated to Promotion Center for Medical collaboration & Intellectual property.
10月 1日 Oct.	国際化推進センター設置	International Center was established.	
	医学部附属病院に看護師特定行為研修センター及び造血細胞移植センター設置	Advanced Nurse Training Center and Center for Hematopoietic Cell Trans-plantation as established in the University Hospital.	
10月 1日 Oct.	事務局学務課に国際化推進室設置	International Office was established in the Student Affairs Division, Administration Bureau.	
	医学分光応用寄附研究室をバイオフォトニクスイノベーション寄附研究室に名称変更	Medical Spectroscopy was renamed to the HAMAMATSU BioPhotonics Innovation Chair.	
4月 1日 Apr.	医学部附属病院臨床研究管理センターを臨床研究センターに名称変更	Center for Clinical Research was renamed to the Center for Clinical Research.	
	医学部に産婦人科地域医療学講座(寄附講座)開設	Department of Obstetrics & Gynecology and Community health was established by donation in the School of Medicine.	
3月 16日 Mar.	医学部附属病院に医療放射線安全管理室設置	Medical Radiation Safety Management Center was established in the University Hospital.	
	大学院医学系研究科博士後期課程(光医学共同専攻)第1回学位記授与式	The first degree award ceremony for the Cooperative Major in Medical Photonics, Doctoral Course in Graduate School of Medicine & Nursing.	
4月 1日 Apr.	医学部附属病院シミュレーションセンターをシミュレーション教育部門に改め、医学教育推進センターに編入	Simulation Center was renamed to the Division of Medical Simulation, and was reorganized within the Medical Education Center.	
	医学部医学科の放射線診断学・核医学講座を放射線診断学講座に名称変更	Department of Diagnostic Radiology & Nuclear Medicine was renamed to the Department of Radiology.	
5月 1日 May	医学部に浜松成育医療学講座(寄附講座)開設	Department of Hamamatsu Child Health and Developmental Medicine was established by the donation in the School of Medicine.	
	医学部附属病院中央診療施設等を中央診療施設の診療部門及び支援部門に改組	Central Clinical Facilities were reorganized to the Clinical Divisions and the Support Divisions.	
5月 1日 May	医学部附属病院に診療科(脳神経内科)設置	Clinical Care Department of Neurology was established in the University Hospital.	
	医学部附属病院中央診療施設(支援部門)の難病医療相談支援センターを診療部門の神経・難病センターに改組	Neurological and Intractable Diseases Center was established in the Clinical Divisions. (Intractable Disease Support Center in the Support Divisions was superseded.)	

キャンパスマップ Campus Map



施設名称

① 管理棟	Headquarters Building
② 講義実習棟	Educational Building
③ 福利施設棟	Welfare Facilities
④ 附属図書館	University Library
⑤ 基礎臨床研究棟	Basic and Clinical Research Building
⑥ 医工連携拠点棟	Innovative Medical Collaboration Building
⑦ 看護学科棟	Nursing Faculty Building
⑧ 総合人間科学・基礎研究棟	Integrated Human Sciences & Basic Research Building
⑨ 臨床講義棟	Clinical Lecture Building

⑩ 附属病院棟(外来棟)	Outpatient Clinic, University Hospital
⑪ 附属病院棟(病棟)	Hospital Ward, University Hospital
⑫ PET-CT棟	PET-CT Facilities
⑬ 探索的臨床研究施設	Translational Research Center
⑭ 病院福利施設(杏林スマイルテラス)	Hospital Welfare Facilities
⑮ フォトン研究棟	Photon Research Building
⑯ サイクロトロン棟	Cyclotron Facilities
⑰ RI動物実験施設	RI Experimental Animals Institute
⑱ 医療廃棄物処理センター	Center for Medical Waste Management
⑲ 国際交流会館	International Residence
⑳ 医大宿舎	University Residence
㉑ 医大舟岡山宿舎	Funaokayama University Residence
㉒ 医大半田山宿舎	Handayama University Residence
㉓ 職員宿舎(アプリコットヴィレッジ)	Staff Residence

㉔ 体育館	Gymnasium
㉕ 武道館	Martial Arts Hall
㉖ 弓道場	Kyudo Ground
㉗ プール	Swimming Pool
㉘ テニスコート	Tennis Court
㉙ サッカー・ラグビーグラウンド	Soccer/Rugby Ground
㉚ 野球場	Baseball Ground
㉛ 半田山会館	Handayama Hall
㉜ 慰霊塔	Cenotaph